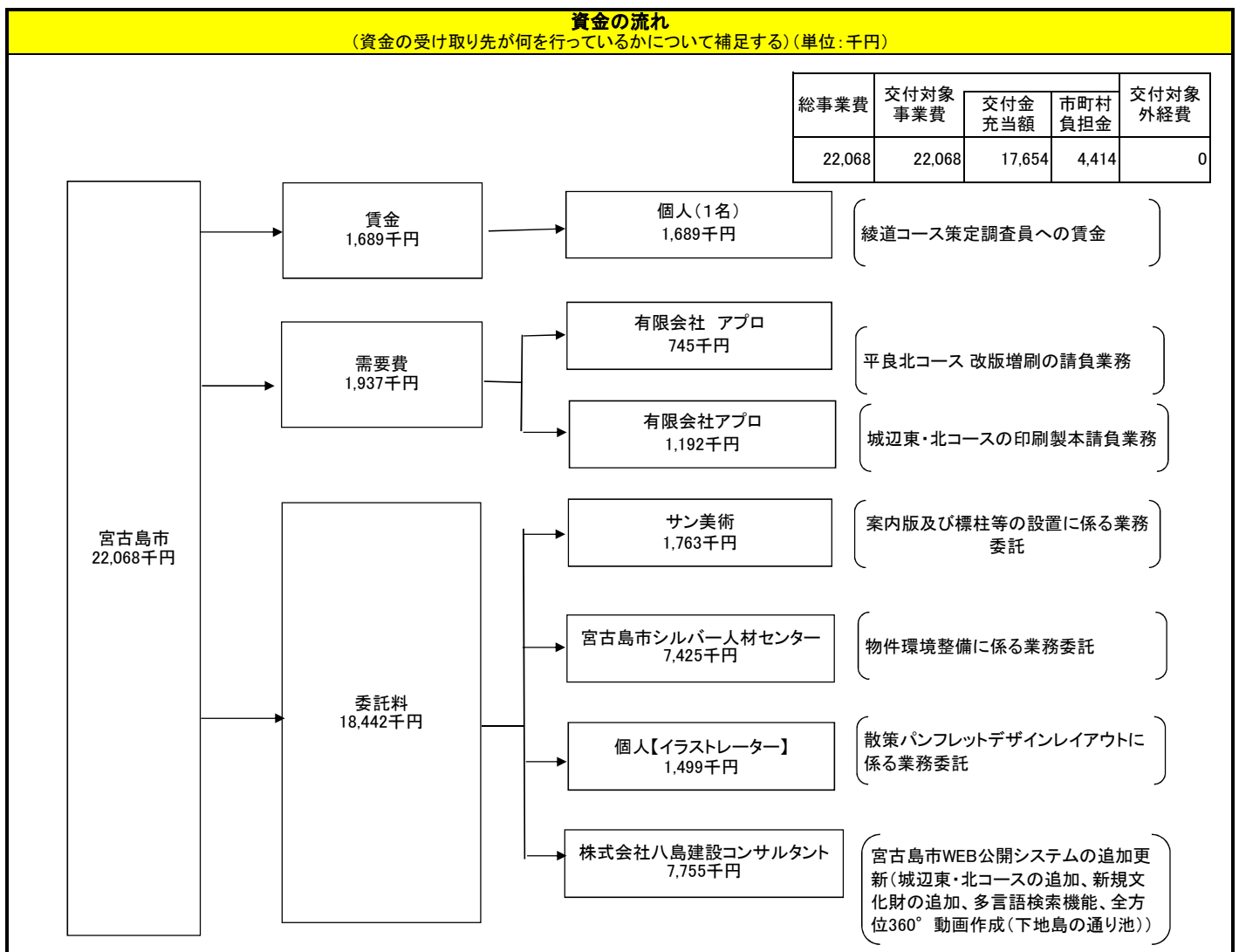


市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-(ア) 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	
担当部課名	生涯学習部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	現在、6コース展開しているNEO歴史文化ロード「綾道(あやんつ)」を拠点とし、平成30年度は城辺東・城辺北地区に所在する「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心とする散策コース等の整備を行い、伝説と民話に彩られたロマン溢れる「宮古島特異の歴史と文化」を巡る新たな観光資源の一つとして広く活用する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	78,500	23,498	30,751	34,699	26,023
		(b) 予算現額	78,500	26,078	30,751	34,699	22,210
		(c) 増減額(b-a)	0	2,580	0	0	▲ 3,813
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	78,500	26,078	30,751	34,699	22,210
	執行の状況	B. 執行済額	78,487	25,502	30,419	32,971	22,068
		うち交付金充当額	62,789	20,401	24,335	26,376	17,654
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	97.8%	98.9%	95.0%	99.4%
予算の状況の説明	当初計画していた「宮古島保良の石灰華段丘」アクセス経路整備測量設計業務が、文化庁の国庫補助対象項目に当てはまることが判明したため、当該業務の予算額3,813千円の減額補正を行っている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・新規コース「綾道~城辺東・北コース」の策定とパンフレット作成/1コース	目標	(1コース)	()	()	()	
		実績	1コース				
	宮古島市文化財WEB公開システム追加更新/1コース分	目標	(1コース)	()	()	()	
		実績	1コース				
	平成24年~平成29年度で策定した4コースの環境整備除草清掃作業	目標	(清掃)	()	()	()	
		実績	完了				
	標柱及び説明板の10基の設置	目標	(10基)	()	()	()	
		実績	10基				
国指定天然記念物「宮古島保良の石灰華段丘」へのアクセス経路の基本設計の実施	目標	(実施)	()	()	()		
	実績	未実施					
達成状況説明	・新規コース(城辺東・北コース)の策定。散策パンフレットについては、城辺東・北コースを12,000部を作成した。 ・宮古島市文化財WEB公開システム追加更新については、城辺東・北コースの追加、新規文化財の追加、多言語検索機能、全方位360°動画作成(下地島の通り池)、の追加更新を行った。 案内版・標柱等の設置については、案内版9基、標柱1基を設置完了した。 国指定天然記念物「宮古島保良の石灰華段丘」へのアクセス経路の基本設計については、本交付金業務では行わないこととなったため、実施していない。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)
		目標	() ()	(710,000人以上)	() () ()	() () ()
	実績		1,143,031人			
進捗 説明 状況	入域観光客数は目標値を大きく上回る結果となった。					

取組の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に取り組んだパンフレットの無料配布や文化財WEB公開システムを活用し県内外へ発信を行ったことで、歴史文化に関心のある層の観光誘客に至ったと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の観光基本計画で目標としている2028年度の入域観光客200万人の実現に向け、引き続き散策コースの策定を進めるとともに、既存策定コースの環境美化に努める。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 上野野原・下地東コースの策定を行う。 既存策定コース上の文化財の環境美化(除草清掃)を行う。 		



資金の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託・請負事業者は、文化財の特性上、業務には高度な専門性・技術が求められることを鑑みて、市内文化財の測量成果を有しかつGIS技術で独自のシステムを所有するコンサルタント業者であり、システム構築から業務実施を行っておりシステム設計を既に構築していることから、地方自治法施行令167条の2第1項第6号に該当し適正であったと考えている。説明板等はUVカットシート圧接特殊加工技術を有する製作者等を選定しており、地方自治法施行令167条の2第2項に該当し適正であったと考えている。デザインイラスト作成については平成24年～平成30年度の当該業務を請け負っており、シリーズの最終的なイラストの統一性の観点から選定しており、適正であったと考えている。また、環境整備業務は宮古島市シルバー人材センターに委託しており、適正であったと考えている。</p> <p>○予算規模については、特殊業務は事前に見積書を徴取するなどしており適正であると考えている。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	ムイガー展望施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-(ア)	
担当部署	生活環境部 城辺支所	事業実施(予定)年度	平成29~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
事業内容	宮古島南部の断崖を一望できる景勝地のムイガー断崖について、観光資源として活用するため、展望施設の整備工事を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,003	51,868			
		(b)予算現額	3,589	51,867			
		(c)増減額(b-a)	586	▲1			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	3,589	51,867			
	B.執行済額		3,352	51,867			
	うち交付金充当額		2,681	41,493			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		93.4%	100.0%			
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	既設階段整備	目標	(96.55㎡)	()	()	()	
		実績	96.55㎡				
	手摺り整備	目標	(42.3m)	()	()	()	
		実績	42.3m				
	遊歩道整備	目標	(149.32㎡)	()	()	()	
		実績	149.32㎡				
	階段新設	目標	(37.66m)	()	()	()	
		実績	37.66m				
トイレの撤去	目標	(1基)	()	()	()		
	実績	1基					
休憩所の設置	目標	(12㎡)	()	()	()		
	実績	12㎡					
展望スペース(3㎡, 6㎡, 16㎡)設置	目標	(3㎡, 6㎡, 16㎡)	()	()	()		
	実績	3㎡, 6㎡, 16㎡					
ロータリー整地	目標	(435.1㎡)	()	()	()		
	実績	435.1㎡					
達成状況説明	宮古島南部の断崖を一望できる景勝地のムイガー断崖について、観光資源として活用するため、展望施設の整備工事を予定どおり完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	ムイガー展望施設の整備完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R1成果目標】観光客等を対象に、観光地として魅力的かどうか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	予定していた工事を完了し、供用開始することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・平成30年度に予定していた整備工事はすべて完了し、新たな観光資源としてのムイガー展望施設が完成した。</p>	<p>・整備した施設に対して美化活動を継続して行い、さらなる魅力度向上を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・観光客等を対象にアンケートを実施し、観光地としての魅力的かどうか等、本事業のあり方について検証する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	51,867	51,867	41,493	10,374	0

資金の流 用途の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であった。</p> <p>○予算規模については、不用額が1千円であり、適正な規模であった。</p> <p>○費目・用途については、事業目的に即しているものであった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 宮古島市

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③	伊良部地区観光地総合整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ
担当部課名	伊良部支所地域づくり課	事業実施(予定)年度 平成27~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
				Ⅲ-1-(1)

事業内容 伊良部地区の観光地の利便性を図るため、白鳥崎公園人道橋の調査・測量及び実施設計業務を行う。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	5,000	5,000	30,600	20,270	
	(b) 予算現額	5,000	5,000	24,792	30,748	
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 5,808	10,478	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計 (b+d)	5,000	5,000	24,792	30,748	
	B. 執行済額	4,812	4,860	24,791	30,294	
	うち交付金充当額	3,849	3,888	19,833	24,235	
	次年度繰越額	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)	96.2%	97.2%	100.0%	98.5%	
	予算の状況の説明	事業計画通り執行しており、不用額454千円は入札残によるものである。				

活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況			
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		実施設計の実施	目標 (総合計画策定業務)	(実施計画策定業務)	(測量、建築、基本設計の実施)
	実績	総合計画策定業務の完了	実施計画策定業務の完了	測量、建築、基本設計委託業務の完了	実施設計の完了
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	白鳥崎公園の人道橋の実施設計を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		目標	()	(委託業務の実施)	(完了)	()
	実績		委託業務の完了	完了		
	【R4成果目標】 観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	事業計画通り、実施設計を完了した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画通り、白鳥崎公園橋梁の実施設計を完了できた。 ・白鳥崎公園は伊良部県立自然公園の指定地域に位置しており当該公園区域内での開発行為等は自然公園法に基づいて規制されているため、実施設計策定にあたっては、環境保全に十分に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施設計を完了し、内容も自然公園法に基づいて環境保全に配慮したものとなっており、特段改善の必要はないものと考えられる。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・策定した実施設計に基づき橋梁工事をを行い、令和4年度の供用開始を目指す。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	30,294	30,294	24,235	6,059	0
<pre> graph LR A[宮古島市 30,294千円] --> B[委託料 30,294千円] B --> C["(株)東洋建設コンサルタント 6,318千円"] B --> D["(株)興武測量設計 23,976千円"] C --- E["白鳥崎公園園路調査測量委託業務"] D --- F["白鳥崎公園園路修復実施設計委託業務"] </pre>					

資金の流 点 検 評 価 ・ 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算の範囲内での執行で適正な規模であった。 ○費目、使途については、清算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	新城海岸環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)	
担当部課名	観光商工部 観光商工課	事業実施 (予定)年度	平成28~令和2年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客受入体制の整備	
事業内容	新城海岸を訪れる観光客の利便性向上のため、新城海岸利便施設にシャワーを整備する。今年度は同施設に上水を引き込むための水道管敷設工事に向け、調査・実施設計を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額	54,735	—		10,582	
		(b)予算現額	54,735	—		9,720	
		(c)増減額(b-a)	0	0		▲ 862	
		(d)繰越額	—	54,735		—	
	A. 計(b+d)		54,735	54,735		9,720	
	B. 執行済額		0	54,274		9,720	
	うち交付金充当額		0	43,419		7,776	
	次年度繰越額		54,735	0		0	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	99.2%		100.0%	
予算の状況の説明		当初の計画通り事業を執行することができた。当初予算と比較し予算現額が862千円減となったのは入札残を補正減したものの。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	敷設工事の調査・設計(施工方法の検討・調査等)業務実施	目標	(調査・設計)	()	()	()	
		実績	調査・設計				
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	年度内に業務を完了しており、活動目標を達成することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度		
	新城海岸水道管敷設実施設計業務の完了	目標	() (実施設計完了)	()	()	()	
		実績		実施設計完了			
	【R2成果目標】 観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	
実績							
進捗状況説明	当初の予定通り実施設計を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施設計を完了した。 県道から工事予定の新城海岸利便施設までは道幅が狭く急峻であり、工事期間中は来訪者の往來の妨げになることが課題として考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度取り組んだ実施設計の策定については計画通り完了しており、特段改善の必要はないと思われる。 工事期間中は新城海岸へのアクセスが不便になることが予想されるため、4月～10月を避けて工事を実施することで、観光客への影響を最小限にとどめる。
取組の検証		
<p>既設水道管から県道までの水道管敷設工事は新城海岸の利用に影響が無いため早い時期に実施し、県道から新城海岸利便施設までを利用者の少ない冬期に実施する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,720	9,720	7,776	1,944	0
<pre> graph LR A[宮古島市 9,720千円] --> B[委託料 9,720千円] B --> C[株式会社 興武測量設計 9,720千円] subgraph Note C --- Note["(平成30年度新城海岸水道管敷設測量設計委託業務)"] end </pre>				

資金の流 れ 点 検 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であった。 ○予算規模については、不要額は862千円であり、適正な規模であった。 ○費用・使途については、事業目的に即しているものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 宮古島市

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (1-5, 多言語観光案内サイン整備事業), 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-3-(2)-(エ)), 担当部課名 (観光商工部 観光商工課), 事業実施(予定)年度 (平成29~平成30年度), 沖縄振興基本方針該当箇所 (III-1-(1))

事業内容 年々増加する外国人観光客への対応と国内観光客の事故防止の為、シュノーケリングスポットとなっており、多くの観光客が立ち寄る新城ビーチ及び吉野ビーチに多言語観光案内サインの整備を行い、観光客の利便性・安全性の確保を図る。

効果発現年度 □当年度 ■後年度(令和元年度)

実施方法 □直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()

Table with 7 columns: 予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース), H29年度, H30年度, R1年度, R2年度, R3年度. Rows include (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), and 予算の状況の説明.

Table with 5 columns: H30活動目標(指標), 達成状況 (H29年度, H30年度, R1年度, R2年度). Rows include 安全確保サイン設置 2基(新城ビーチ・吉野ビーチ) and 牧山公園サイン設置 2基.

Table with 7 columns: H30成果目標(指標), 基準値(年度), H29年度, H30年度, R1年度, 目標値(R1年度). Rows include 安全確保サイン設置の完了 2基(新城ビーチ・吉野ビーチ) and 牧山公園誘導サイン設置の完了 2基.

進捗状況説明 吉野ビーチ及び新城ビーチに、利用上の注意や海洋危険生物への注意を促す多言語での安全確保サインを設置し、国内や海外からの観光客の受入体制を充実させる事が出来た。誘導サインについては、既存のサインで対応可能との判断に至った為、設置を取りやめた。

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	観光客が多く立ち寄る主なビーチには安全確保サインを設置する事ができているが、以下のような課題が残る。 ・観光客をどのように観光地へ誘導するか。 ・観光施設や名所、史跡等の多言語案内を効果的に行う為にはどうしたらいいか。	観光客の観光地への誘導及び、各観光施設や名所、史跡等の多言語案内については、誘導看板や案内板設置での対応だけでなく、ICTを活用方法も含めて検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
今後は、観光地への誘導や各観光施設や名所、史跡等の多言語案内についてICTの活用を含めて検討を進め、増加する外国人観光客の利便性向上及び満足度向上に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	5,378	5,378	4,302	1,076	0
<pre> graph LR A[宮古島市 5,378千円] --> B[委託料 5,378千円] B --> C[株式会社アート企画 5,378千円] C --- D["(多言語観光案内サイン整備委託業務)"] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 △不用額が事業費の27.6%であり必要経費や計画について再度見直す必要がある。 ○費目・使途については支出に関する資料を検査し適正であった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	観光地アクセス道路環境美化強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(②)-エ	
担当部課名	建設部 道路建設課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	美しい島づくりを推進するため、観光地アクセス道路の環境美化(除草・清掃)を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	30,889	33,687	34,912	36,983	37,271
		(b) 予算現額	30,889	32,017	34,912	36,983	37,271
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 1,670	0	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	30,889	32,017	34,912	36,983	37,271
	B. 執行済額		29,647	31,452	29,152	34,599	34,881
	うち交付金充当額		23,717	25,161	23,321	27,679	27,905
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.0%	98.2%	83.5%	93.6%	93.6%
予算の状況の説明		宮古島市内の観光アクセス道路33路線の清掃作業を実施したが、当初募集した作業員の確保に時間を要した期間があり、あわせて、募集人員に対し1名減の17人で作業を実施したために、不用額2,390千円が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	観光地アクセス道路の環境美化の実施(32路線)	目標	(作業実施)	(32路線)	(作業実施)	(作業実施)	
		実績	作業実施	32路線	作業実施	作業実施	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	宮古島の主要観光地へのアクセス道路環境美化をはかるため、市道32路線を選定し、17名を雇用し道路清掃作業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	()	()	()
		実績		79.1%			
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	観光地アクセス道路32路線の清掃を実施し、アンケートの結果、目標値にはわずかに届かなかったが、1年をとおり清掃を実施していることで観光客の受入体制が図られつつある。						

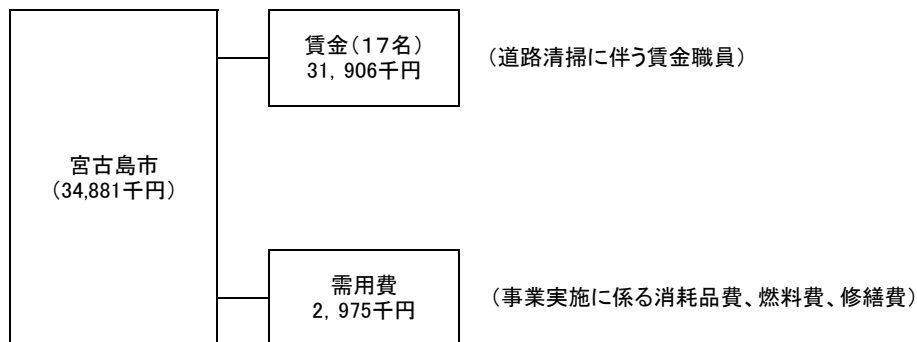
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の増加により、観光地周辺の清掃頻度が増加しているため、今後美化活動を実施する路線の選定見直しや管理方法について検証する必要がある。 作業員の確保及び作業効率に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 美化活動を実施する路線の見直しや管理方法の検証にあたって、現状を正確に把握する必要がある。 人材の確保に向けて、ハローワークや類似の自治体と情報交換を行い待遇面の見直しを実施することが人員の充足に効果的であると考えられる。 夏場の暑さ対策や、冬場の作業員の健康面に配慮し作業効率の改善を図る。

今後の取り組み方針

- 関係機関との連携を図りつつ、対象路線及び環境美化頻度を見直し、観光地へのアクセス道路の環境美化を実施していく。
- 人材の確保については、他市町村やハローワークと連来・情報交換に努めながら、待遇の改善等に係る検討を内部で行っていく。
- 作業時間帯や休憩時間の見直し、作業員が健康・安全に作業できるよう作業環境の改善を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
34,881	34,881	27,905	6,976	0



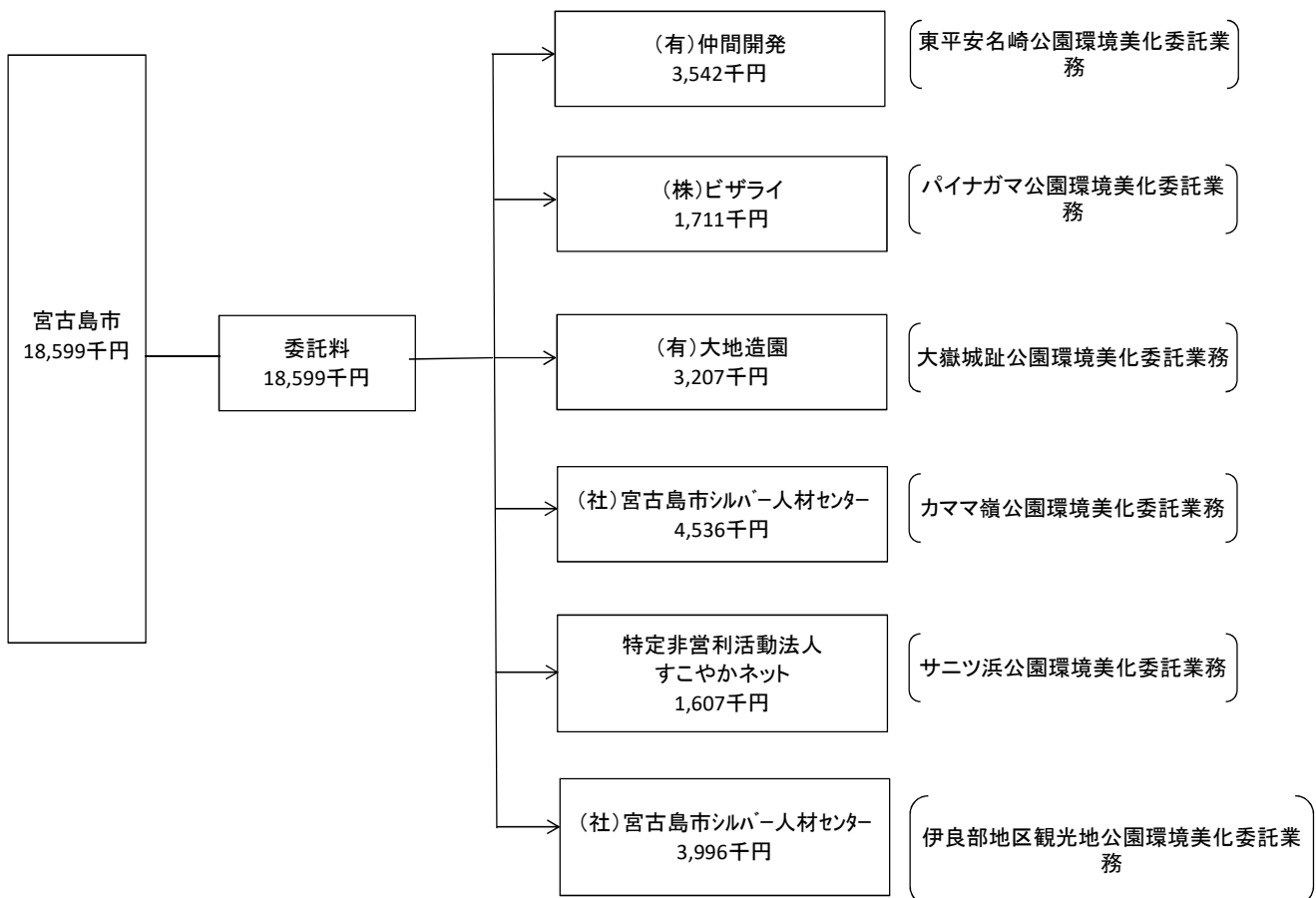
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○賃金職員は、本市条例・規則に基づき審査、決定しており妥当である。 ○作業員の確保できない期間分不用額が発生したが、予算規模としては適切だったが、次年度以降作業員の確保を行う必要がある。 ○費目、使途については、支出等に関する書類により確認し、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②		観光地公園環境美化強化事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	担当部課名	建設部 都市計画課 伊良部支所 地域づくり課		事業実施 (予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容		美しい島づくりを推進するため、宮古島観光地公園5箇所(東平安名崎公園、パイナガマ公園、カママ嶺公園、大嶽城趾公園、サニツ浜公園)及び伊良部島観光地公園7ヶ所(サバオキ公園、フナウサギバナ、白鳥公園、通り池、佐和田の浜、渡口の浜、牧山公園)の観光地として利用されている公園の環境美化清掃を行う。					II-1-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	20,466	18,500	11,934	21,723	22,382
	(b) 予算現額	18,182	18,500	18,943	18,813	19,718	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 2,284	0	7,009	▲ 2,910	▲ 2,664	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)	18,182	18,500	18,943	18,813	19,718	
	B. 執行済額	17,669	18,070	16,821	18,743	18,599	
	うち交付金充当額	14,135		13,456	14,994	14,879	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.2%	97.7%	88.8%	99.6%	94.3%	
予算の状況の説明		・当初計画通りすべて実施することができた。 ・委託料の入札残2,664千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	観光地公園12ヶ所の環境美化作業実施		目標 (12箇所)	(12箇所)	(12箇所)	(12箇所)	
			実績	12箇所	12箇所	12箇所	
	【参考指標】 定期的美化作業 宮古島:年12回(月1回程度)		目標 (宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回)	(宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回)	(宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回)	(宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回)	
実績		宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回	宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回	宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回	宮古島:年12回 伊良部島:年4~5回		
達成状況説明	宮古島観光地公園5箇所(東平安名崎公園・パイナガマ公園・カママ嶺公園・大嶽城趾公園・サニツ浜公園)においては、それぞれ月1回以上の除草作業等を実施した。伊良部島観光地公園は7箇所(サバオキ公園4回、フナウサギバナ5回、白鳥公園5回、通り池5回、佐和田の浜5回、渡口の浜4回、牧山公園5回)の除草作業等を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	()	()	()
			実績	95.9%			
	目標 ()		()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	美化環境について観光客にアンケートを実施した結果、目標値である80%を上回り約96%が満足だと回答した。観光地公園の環境美化作業を実施することで観光地として魅力的な景観形成が図られている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な除草を行っているが、5～10月の間は雑草の成長が早く作業が追いつかない。 入域観光客数の増加に伴い、今後も観光地公園の来園客数の増加が見込まれるが、その分観光客による放置ゴミ等による美化環境への影響が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 面積が大きい作業観光地公園の除草作業については、除草範囲を分けて委託を検討する必要がある。 観光客の増加が観光地公園の美化環境にどのような変化を及ぼすかを把握し、変化に対応した公園環境美化作業内容について検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 観光客の増加による公園の美化環境の変化を把握し、観光地公園としての景観形成を在り方を検討する。 必要に応じて今後、除草作業の範囲の拡大や清掃活動の回数を増やすなど、公園美化環境の最適化に向けて取り組んでいく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,599	18,599	14,879	3,720	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第3号の規定により公表を行った上での随意契約と指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○事業年度に見合った予算規模で適正であったと考える。 ○費用、用途については、事業目的の観点から必要かどうかを検討し、額の確定時において確認しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	宮古島オリジナルMICE促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	観光商工部 交流推進課	事業実施(予定)年度	平成28~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	リゾート地等の地域資源を活かしたMICEの推進に向け、インセンティブ旅行(報奨・研修旅行)とイベント(文化音楽・産業・生涯スポーツイベント・展示会等)の誘致活動等の取り組みを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		9,367	—	23,697	4,376	
			94,587	—	23,697	4,338	
			85,220	—	0	▲ 38	0
			—	34,773	—	—	
			94,587	34,773	23,697	4,338	0
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		59,814	34,773	21,461	4,338	
			47,851	27,818	17,168	3,470	
			34,773	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	63.2%	100.0%	90.6%	100.0%	#DIV/0!
	予算の状況の説明	不用額は委託料における受託事業者の価格提示等によるもの。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	宮古島オリジナルのMICE促進業務の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	宮古島オリジナルMICE促進業務についてはインセンティブ誘致及びイベント誘致を行い概ね目標通り実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	イベント、企業研修等誘致 件数12件以上	目標	()	(12件)	()	()	()
		実績		34件			
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	宮古島オリジナルMICE促進業務については、インセンティブ誘致及びイベント誘致を行うことにより、イベント・企業研修のMICE誘致件数は目標値の12件を大幅に上回る34件となり目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	委託業者による企業訪問等の誘致活動、ドームHPでのPR活動などの取り組みにより成果目標を達成できたと考えているが、インセンティブツアー等によるドーム利用を増やすための誘致活動をおこなう必要がある。	当該業務により作成した企画セールスシートを活用し宮古島オリジナルMICEメニューの情報を国内・海外に向け発信しインセンティブツアー等の開催に繋げる。
今後の取り組み方針		
引き続き企業訪問等の誘致活動に取り組むとともに、国内・海外からのインセンティブツアー等の誘致をするために企画セールスシート、ドームのHPを活用した誘致活動へも取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	4,338	4,338	3,470	868	0
<pre> graph LR A[宮古島市 4,338千円] --> B[委託料 4,338千円] B --> C["(株)DMC沖縄 4,338千円"] subgraph Note D["(宮古島オリジナルMICE促進事業委託業)"] end </pre>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、プロポーザルにより決定したので妥当であったと考えている。 ○予算規模に関しては、適正な規模であったと考えている。 ○費用・使途について精査確認しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 宮古島市

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (3-② クルーズ船観光受入体制強化事業), 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所, 第三章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備, 担当部課名 (観光商工部 観光商工課), 事業実施(予定)年度 (平成29~令和3年度), 沖縄振興基本方針該当箇所, III-1-(1)

事業内容 クルーズ船観光客の受入体制強化に向け、観光案内所の設置・運営、臨時CIQ設置、歓送迎セレモニーの開催、情報の発信・収集等を行い、観光客の満足度を高め、誘客を図る。

効果発現年度 ■当年度 □後年度(年度)

実施方法 □直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()

Table with 7 columns: 予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース), H29年度, H30年度, R1年度, R2年度, R3年度. Rows include (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%)(B/A), and 予算の状況の説明.

Table with 5 columns: 活動目標(指標) 及び達成状況, H30活動目標(指標), 達成状況 (H29年度, H30年度, R1年度, R2年度). Rows include 観光案内所の設置、運営, 臨時CIQ設置, 歓送迎セレモニー, 二次交通対策, パンフレットなど情報発信, アンケートなど情報収集.

達成状況説明
・観光案内所の設置、運営:委託期間中、チャーター船など観光案内所が必要な場合を除き、すべて開設。
・臨時CIQ設置:委託期間中、臨時CIQが必要な場合は、すべて設置。
・歓送迎セレモニー:初寄港船の歓送迎セレモニーを3回実施、最終寄港日の送迎イベント(ノベルティー配布)を1回実施。
・二次交通対策:案内板等により、タクシー・臨時路線バスなどへ案内した。
・パンフレットなど情報発信:観光マップ、散策マップ(新規作成)、マナーうちわ(新規作成)を、多言語版で配布。クルーズ船情報のメール配信サービスを実施。
・アンケート等情報収集:クルーズ船ワールドドリーム号の乗組員に対して実施。

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値 (H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)	
	・クルーズ船観光客数429,550人	目標	()	(429,550人)	()	()	()
		実績	363,968人	454,157人			
	【参考指標】 ・クルーズ船寄港回数	目標	()	()	()	()	()
実績		147回	153回				
進捗状況説明	クルーズ船寄港回数は、平成29年度147回、平成30年度153回とわずかに増加。成果目標指標のクルーズ船観光客数は、目標値を約25,000人上回る結果となった。また、昨年度と比較すると、約90,200人増となっている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船の寄港回数は147回から153回と微増であるが、船舶の大型化によって、観光客数自体は、目標値を大幅に上回る結果となった。 ・受入体制としては、二次交通不足や主要観光地の駐車場やトイレなどのインフラ不足など、大勢の観光客を受け入れるための整備が必要。 ・観光案内所で、散策マップ(新規作成)を配布することにより、FIT(海外個人旅行)客を市内商店街へ運ぶことができ、港の混雑緩和につながった。 ・観光案内所でマナーを記載したうちわを配布することにより、炎天下対策及びマナー啓発に努めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・船舶の大型化により、一度に大勢の観光客が宮古島を訪れるようになった。観光メニューの多様化に努める必要がある。 ・二次交通、主要観光地の整備は、民間を含め、全市的な対応となる。関係機関と連携した対応が必要。 ・観光案内所では、観光マップ、散策マップ以外にも、案内メニューを増やし、サービス向上に努めたい。 ・マナー啓発についても、印刷物配布以外に動画やスマートホン活用などを検討したい。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・観光関連事業者と連携するなど、観光案内所で提供できる新しいメニューを検討する。 ・二次交通事業者等と連携し、交通案内の充実、観光地情報の発信強化に努める。 ・観光案内所でタブレットを使った観光案内を行うなど、案内メニューを多様化する ・マナー啓発については、観光マナーの観光マップなどへの掲載、動画をターミナルで流すなど、対策強化を図る。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	16,606	16,606	13,285	3,321	0
<pre> graph LR A[宮古島市 16,606千円] --> B[委託料 16,606千円] B --> C[宮古島観光協会 16,606千円] </pre>					
<ul style="list-style-type: none"> ・多言語の観光案内所の設置 ・パンフレット等による情報発信 ・臨時CIQの設置 ・バス・タクシーへの案内板の設置および誘導 ・歓送迎セレモニー ・アンケート等の情報収集 					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき、随意契約を行っており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△不用額が8,394千円と事業費の約33%であった。クルーズ船のキャンセルなど、不確定要素が大きいのが、適正な規模になるよう努めたい。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

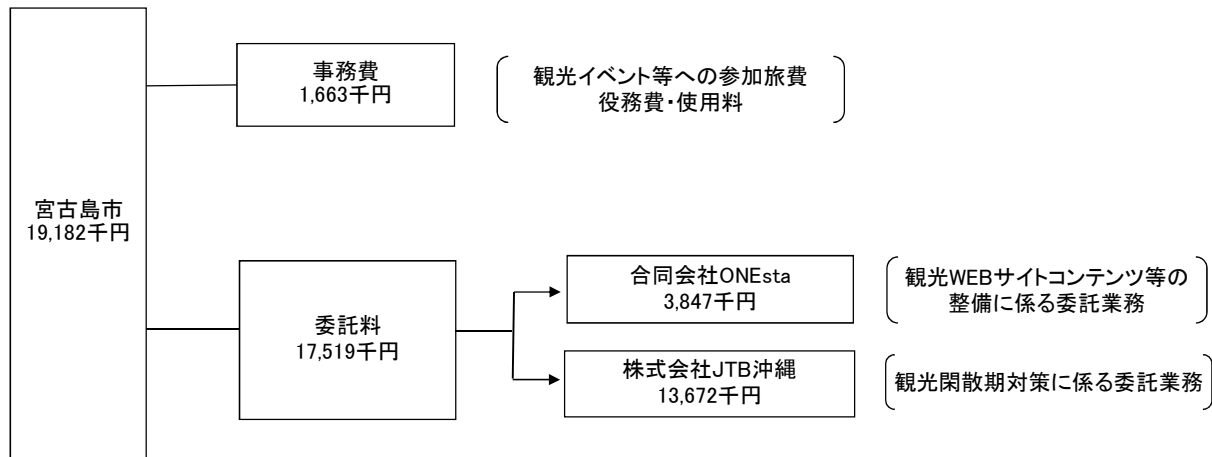
市町村名		宮古島市				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-③	誘客促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(イ)
担当部課名	観光商工部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開	
事業内容	本市への観光誘客を図るため、ウェブサイトやSNSの活用、県内外での観光イベント参加等による観光プロモーション活動を実施する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a)当初予算額	43,000	—	25,000	28,000
	(b)予算現額	83,000	—	20,370	21,000	19,800
	(c)増減額(b-a)	40,000	—	▲4,630	▲7,000	▲1,200
	(d)繰越額	—	—	—	—	—
	A.計(b+d)	83,000	—	20,370	21,000	19,800
	B.執行済額	78,942	—	20,068	19,511	19,182
	うち交付金充当額	63,152	—	16,054	15,608	15,345
	次年度繰越額	0	—	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	95.1%	—	98.5%	92.9%	96.9%
予算の状況の説明	当初の計画通り事業を執行することができた。当初予算と比較し予算現額が1,200千円減となったのは、委託料の受託事業者価格提示による不要額の一部を他事業へ流用したものの。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	①観光PRイベント等への参加	目標	(イベント参加)	(イベント参加)	(イベント参加)	()
		実績	イベント参加	イベント参加	イベント参加	
	②ウェブサイトやSNS等を活用したプロモーションの実施(コンテンツ等の整備)	目標	(情報発信)	(情報発信)	(情報発信)	()
		実績	情報発信	情報発信	情報発信	
③閑散期対策(コンテンツの開発)	目標	(コンテンツ開発)	(コンテンツ開発)	(コンテンツ開発)	()	
	実績	コンテンツ開発	コンテンツ開発	コンテンツ開発		
達成状況説明	【観光PRイベント等への参加】 ツーリズムEXPOジャパン2018や名古屋まつり等のイベントで、宮古島の観光PRを行った。 【ウェブサイトやSNS等を活用したプロモーションの実施(コンテンツ等の整備)】 観光WEBサイト(宮古島style)のコンテンツ追加等を行いアクセス増加を図るとともに、Facebookの活用と併せて宮古島の情報を発信した。 【閑散期対策(コンテンツの開発)】 平成26年度に観光客が減少する冬期の誘客を目的として「ゆっくりとくらすように旅する」をコンセプトに立ち上げた「ゆるくプロジェクト」を平成30年度においても実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
		目標	()	(500,000)	(710,000)	(710,000)
	実績		703,054	988,343	1,143,031	
進捗状況説明	宮古島市への入域観光客数は昨年度と比較して大幅に増加し、目標710,000人対し、実績は1,143,031人となり目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>入域観光客数の増加要因として、海路についてはクルーズ船の寄港回数が平成29年度の147回から153回に増加したこと、また船の大型化に伴い一隻当たりの観光客数が増加したことが考えられる。</p> <p>空路については直行便の拡大が主要因。平成29年度は6月～10月の期間運航であった中部国際空港からの直行便が平成30年度には通年運航となり、また平成30年度の6月～10月には福岡空港からの直行便が期間運航した。</p> <p>宮古島市では、第2次宮古島市観光振興基本計画において、2028年度の入域観光客数200万人を目標として掲げており、目標達成に向けて引き続き誘客促進に取り組んでいく必要がある。</p>	<p>観光WEBサイトは、これまでの取り組みによりコンテンツ充実が図られた。一方、最新の宮古島の情報等はSNSにより随時発信し、ファン離れの防止と新規ファンの獲得を目指す必要がある。</p> <p>閑散期対策については、繁忙期との平準化が進まない状況にあり、取り組みを強化していく必要があるが、「ゆるくプロジェクト」開始から5年を経過し、宮古島の観光を取り巻く状況が大きく変化している為、観光関連事業者協働の場での見直しが必要である。</p> <p>観光PRについては、今後も積極的にイベント等に参加して宮古島をPRしていく必要がある。平成31年3月30日に下地島空港のターミナルが開設され、同空港の路線誘致を強化する必要がある。</p>

取組の検証	
<p>第2次宮古島市観光振興基本計画で掲げた、2028年度入域観光客数200万人達成に向けて取り組みを継続していく必要がある。</p> <p>観光WEBサイトを活用した情報発信については、コンテンツの充実が図られており、今後は軽微な変更と、Facebookを活用した継続的な情報を発信を続けていく。</p> <p>閑散期対策については、官民連携した「宮古島観光推進協議会(仮)」を立ち上げ、今後の取り組み方針について検討を進める。</p> <p>観光PRについては、下地島空港ターミナルを運営する下地島エアポートマネジメントや宮古島観光協会、沖縄県及びOCVBと連携し、新規路線誘致の取り組みを進める。</p>	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,182	19,182	15,345	3,837	0



資金の流れ、費用の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○事業の実施にあたっては公募型プロポーザル方式により、委託事業者を選定したほか、実績、知識等の面で信頼性がある事業者を選定して契約しており、支出先としては妥当であると考えられる。</p> <p>△予算規模については、事業計画の精度を上げる必要がある。</p> <p>○費用・使途については、事業完了後に検査を行った結果適正であった。</p>
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	下地島空港観光アクセス調査事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	企画政策部 企画調整課	事業実施 (予定)年度	平成30~令和元年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	国際線等旅客ターミナルの供用開始により、新たに多くの観光客利用が見込まれる下地島空港の利便性向上を図るため、同空港と市内要所を結ぶ交通アクセスの確保に向けた調査・検討を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	8,219				
		(b) 予算現額	8,219				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	8,219				
	B. 執行済額		7,765				
	うち交付金充当額		6,212				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		94.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		・業務委託を公募型プロポーザルにて実施し、受託者の提案額にて契約したことによる減額が生じた(△335千円) ・概算契約を採用しているため、実支出に対しての検査・精算による減額が生じた(△119千円)					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	下地島空港観光アクセス調査の実施	目標	(調査の実施)	()	()	()	
		実績	調査の実施				
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	・下地島空港への2次交通確保に向けて、交通需給ニーズの把握、望ましいアクセスルートの検討等、各種調査・検討を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R1年度)
	下地島観光アクセス調査の完了	目標	()	(調査の完了)	()	()	()
		実績		調査の完了			
	【R1成果目標】 下地島空港と市内要所間のアクセスが可能 となる2次交通を1ルート以上確立する。	目標	()	()	()	()	(1ルート以上)
実績							
進捗状況説明	・交通需要のニーズについては、ホテル事業者へのヒアリングや観光客へのアンケート等により、下地島空港~市街地~市南部のリゾート地を結ぶ公共交通の実現が望まれていることを把握した。 ・交通供給のニーズについては、市内外のバス事業者へ意向調査を実施した結果、2社が路線運行の意向があることを把握。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 下地島空港ターミナルの開港が平成31年3月末とされていたこと、公共交通の運行には法令や基準に適合する必要があるため、その認可まで相応の期間を有すること等から、計画的なスケジュールに配慮し、事業を実施した。 新規路線の開設には、運行に対する各種リスクもあり、場合によっては事業継続による実証事業(運行の採算性の検証など)の実施についても留意した。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業での調査・検討結果について、路線運行の意向があるバス事業者へ情報共有を図り、早期の交通アクセス確保を連携・協力し検討した。 バス事業者と連携した検討を進めた結果、平成30年度中に2つのバス路線が開設され、事業成果の発現が早期に図られた。 バス路線の開設が図られたことから、運行実証等の事業継続はせず、交付金を活用した取組は平成30年度で完了する。
今後の取り組み方針		
<p>・開設された2つのバス路線における乗客ニーズや今後の課題等について運行事業者と情報共有を図るとともに、下地島空港への就航便増加に合わせた公共交通の望ましい交通アクセスについて連携・協力を継続していく。</p>		

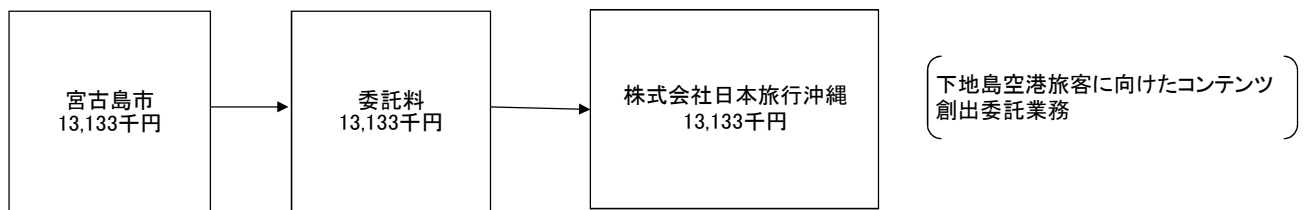
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	7,765	7,765	6,212	1,553	0
<pre> graph LR A[宮古島市 7,765千円] -- 委託料 7,765千円 --> B[株式会社 パシフィックコンサルタンツ 沖縄支店 7,765千円] B --- C[下地島空港観光アクセス調査 委託業務] </pre>					
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者選定はプロポーザル方式で実施したため、選定方法は適正である。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行残額は、受託者からの見積額を契約金額に反映したことや検査時の精算によるものであり、適正な事業執行から生じたものである。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算において適切に検査を実施しており、事業目的に即し必要なものであった。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-5	下地島空港旅客に向けたコンテンツ創出事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-(ア)		
担当部課名	企画政策部 企画調整課	事業実施(予定)年度	平成30~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	2019年3月供用開始の下地島空港を利用する旅客等に向けて、地域の資源・魅力を発信する短時間周遊や体験型プログラム等のコンテンツを創出する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	13,608				
		(b)予算現額	13,133				
		(c)増減額(b-a)	▲475				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	13,133				
	B.執行済額		13,133				
	うち交付金充当額		10,506				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	予算の状況の説明		不用額475千円は、業務委託を公募型プロポーザル方式にて実施し、事業者からの企画提案額にて契約を締結したためであり、適正な業務執行を踏まえた結果である。				
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度			
	目標	(実施)	()	()	()		
体験型観光コンテンツ創出業務の実施		実績	実施				
達成状況説明	①現状の観光客動態調査・分析、海外エージェンツへのヒアリング、地域団体等を含めたワークショップを実施した。 ②既存の観光資源をリスト化し、新たな観光資源の開発を行った。 ③専門家を招聘して現地視察および観光資源に関するヒアリングを実施し、下地島空港を起点とする周遊モデルルートを策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	体験型観光コンテンツ創出業務の完了		目標	(完了)	()	()	()
			実績	完了			
	【R2成果目標】 R1事業内容を踏まえ、コンテンツ利用者数に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興策につなげる。		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	①観光客動態分析では自然景勝地や大手商業施設への滞在が多という結果が得られた。また、海外エージェンツへのヒアリングでは、現在宮古島市の認知度は低いが、アジア圏から身近なリゾート地としてのポテンシャルが高いという結果が得られた。 ②既存の観光資源をリスト化するとともに、新たな観光資源を開発した(観光コンテンツ10カ所、スポット創出3カ所)。 ③専門家を招聘して現地視察および観光資源に関するヒアリングを実施し、下地島空港を起点とする周遊モデルルートを3つの時間枠で計10コース策定した。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(観光客動態) 小規模商業施設(商店街や飲食店等)への恩恵が少ない点が課題として挙げられた。	(観光客動態) 下地島空港開業後の観光客動態変化調査を行うとともに、地域全体へ観光消費が波及する取り組みを検討する必要がある。
	(認知度向上・誘客力の強化) 海外観光市場での宮古島市の認知度は低く、観光コンテンツPRへ向けた取り組みの強化が必要である。	(認知度向上・誘客力の強化) 観光地としての認知度を高め誘客力を強化するための取り組みが必要がある。
	(継続的なコンテンツの提供) 既存観光資源の磨き上げと、多様なニーズに対応するための観光資源開発・提供が継続的にできる体制が必要である。	(継続的なコンテンツの提供) 変化し続ける観光客のニーズに対応するコンテンツを継続的に提供・発信するための体制を構築する必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>①下地島空港開業後の観光客動態調査・分析を行い、開業前後の変化や観光客のニーズを把握する。</p> <p>②本事業にて開発したモデルルートのモニターツアー等により、モデルルート・観光コンテンツのさらなる強化・改善に取り組む。</p> <p>③創出したコンテンツやモデルルートについて、継続的に提供可能となる体制の検討を進める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
13,133	13,133	10,506	2,627	0



資金の 使途の 流れ 点検 評価 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は公募型プロポーザル方式にて実施し、公平かつ公正な決定により執行している。 ○予算規模においては、複数事業者より見積を徴し積算を行う等、適正な規模の確保につとめている。 ○業務委託は概算契約により締結し、完了時に事業対象となる経費のみ精算しており、必要な使途に限定している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①		宮古島市天然ガス資源事業化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-イ	
	担当部課名	企画政策部 エコアイランド推進課	事業実施(予定)年度	平成28~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	クリーンエネルギーの推進	
事業内容	宮古島の地下資源である天然ガス及び付随水(温泉水)を利活用した事業化実現のため、施業案(事業計画書)の作成、利活用事業書の策定、温浴施設等事業主体の選定、各種実証事業を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,000	52,000	54,629		
		(b) 予算現額	35,000	52,000	54,629		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計(b+d)	35,000	52,000	54,629		
	B. 執行済額		34,987	51,871	53,069		
	うち交付金充当額		27,989	41,497	42,455		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.8%	97.1%		
予算の状況の説明		執行率は97.8%であり的確な予算立て、執行が出来ている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	天然ガス利用発電による小規模農業実証	目標	(実証実施)	()	()	()	
		実績	実証実施				
	温泉水を利活用するための温浴事業主体の誘致	目標	(公募実施)	()	()	()	
		実績	公募実施				
	施業案(実施計画書)の策定	目標	(作成完了)	()	()	()	
実績		未完了					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 軽油との混焼発電機に産出するガスを取り入れ発電を行い、その電力でコンテナ型植物工場を動かす。具体的にはエアコン・照明などの機器を動かす。 温泉水を利活用する為、温浴事業主体を1社選定する。 継続的に天然ガスを使用するため期間制限内採掘権を設定しなければならないが、そのためには鉱床説明書をもって採掘権転願申請を行い、許可後に施業案(実施計画書)の作成・提出となる。採掘権転願申請までは完了したが、施業案(実施計画書)は未完了となった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況			基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
	農作物の収穫量144kg/年	目標	()	(144kg)	()	()	()
		実績		150.39kg			
	温浴事業主体誘致1社	目標	()	(1社)	()	()	()
		実績		1社			
	施業案の策定完了	目標	()	(策定完了)	()	()	()
		実績		未完了			
【R2成果目標】 本事業の報告を踏まえ目標を設定し、天然ガスを利用した事業の円滑な実施につなげる	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 収穫量については目標値を達成できた。 温浴事業主体の誘致については公募を行い1社選定した。 鉱床説明書の策定、採掘権転願申請まで完了したが、その後の施業案の策定は未完了となった。 						

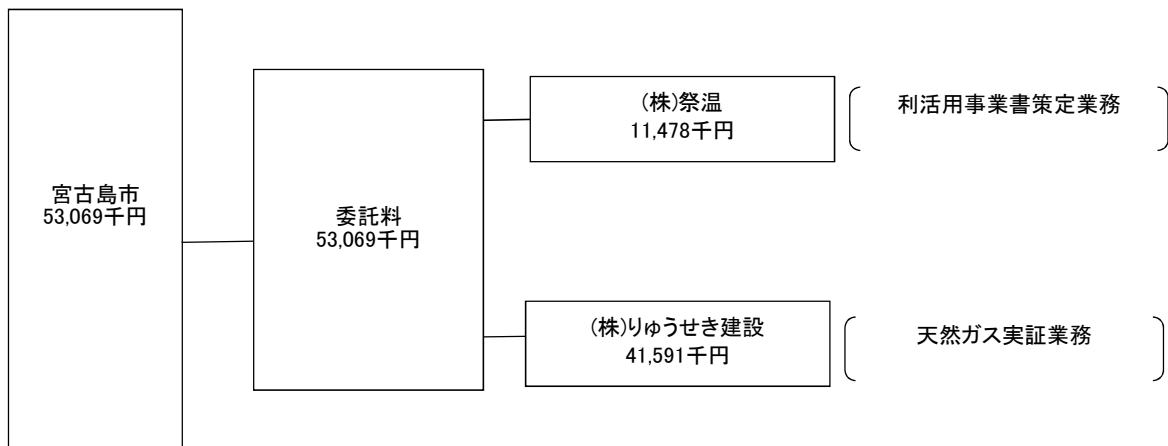
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫量は目標達成できたが、採算性が低い。 ・発電を行うにあたり軽油を助燃剤として使用したが、メタンガス濃度が低いため想定よりも軽油使用が多くコストがかかった。 ・施業案の策定については未完了となったが、鉱床説明書の策定、採掘権転願申請までは計画通り進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・採算性の高い品目について栽培実証を行う。 ・低濃度メタンガスでも高効率で発電できる仕組みを検討する必要がある。 ・計画に基づいて施業案を作成する。

今後の取り組み方針

- ・付加価値の高い品目や需要の高い品目について栽培実証を行う。
- ・低濃度メタンガスでも高効率で発電できるタイプの発電機を導入し実証を行う。
- ・採掘権転願申請が許可された後に、施業案の作成・提出を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
53,069	53,069	42,455	10,614	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託業者はプロポーザルにより決定しているので妥当であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○不用額は3%以内であり適正な規模であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については完成検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	エコアイランド宮古島ブランド化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	企画政策部 エコアイランド推進課	事業実施(予定)年度	平成28~令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	エコアイランド宮古島をブランド化していく上では、多くの市民がエコ関連の取り組みに関わることが重要だが、現状は一部の市民に留まる。多くの市民参加を促す為には、楽しみながら参加できる仕組みづくりが必要なことから、そのような場づくりとそうした活動を広く情報発信・共有する仕組みづくりを行うことで、島内のエコ活動が活発化し、宮古島ファンやリピーター、支援者の増加を図ることを目的とする。 平成30年度においては、市民や事業者のエコへの関心を高めるため、webページによる情報発信、市民が気軽に参加できるワークショップやイベントを開催する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		3,000	12,000	18,925			
		3,000	12,000	18,925			
		0	0	0			
		-	-	-			
	B. 執行済額	2,997	11,685	17,895			
	うち交付金充当額	2,397	9,348	14,315			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	99.9%	97.4%	94.6%			
	予算の状況の説明	不用額1,030千円については、委託業務の精算時において、実績額が減額となったため。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・Webページ運営	目標	活動の取材(15回以上) サイト更新(30回以上) SNS更新(50回以上)	()	()	()	
		実績	活動の取材40回、サイト更新80回、SNS更新143回				
	・ワークショップの開催(6回)	目標	(6回)	()	()	()	
		実績	6回				
	・イベントの開催(2回)	目標	(2回)	()	()	()	
		実績	1回				
	達成状況説明	・「Webページ運営」は、目標を大きく上回った。公式サイトへのアクセス統計によると、69,100ページビュー(2018/5/16~2019/2/21)となった。積極的な、取材や、サイト・SNS更新が結果につながっている。 ・「ワークショップの開催」については、「エコ×○○」といったテーマを設定したワークショップ等を開催するとともに、中でも好評だった市民ライター講座は、前向きな議論や学びあいができた。 ・イベントの開催は、「エコの島コンテスト」の3回目が開催された。マスコミの取り扱い方や、受賞者に対する評価など、継続してきた効果がうかがえた。また、地域に根差したコミュニケーションプラットフォーム構築として東川根自治会との共同開催を企画した。(直前で、大雨が続いたため中止になった。)					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度
・エコ活動イベント参加者500人		目標	()	(500人)	()	()	()
		実績		723人			
・Webページアクセス数25,000件		目標	()	(25,000件)	()	()	()
		実績		69,100件			
進捗説明状況		エコ活動イベント参加者数およびWebページアクセス数は、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	(イベント参加者数) ・徐々に参加する裾野が広がりつつあるが、観光客数の急増に伴ってエコア イランドに係る問題意識や期待感が高まっていると感じられる。 (Webページアクセス数) ・目標を上回るアクセス数を確保できているが、更新頻度を維持するためには、 取材活動を継続していく必要がある。	(イベント参加者数) ・イベントの認知度が高まってきている中で、イベントの継続性担保と、内容の 充実を図る必要があることから、これまでの参加者等からの意見を聴取し、企 画内容への反映を行う必要がある。 (Webページアクセス数) ・委託先における取材、更新のみでは、市民への広がりには限りがあるため、市 民ライター育成を行い、様々な立場の市民が記事作成に参画できる仕組みづく りを進める。

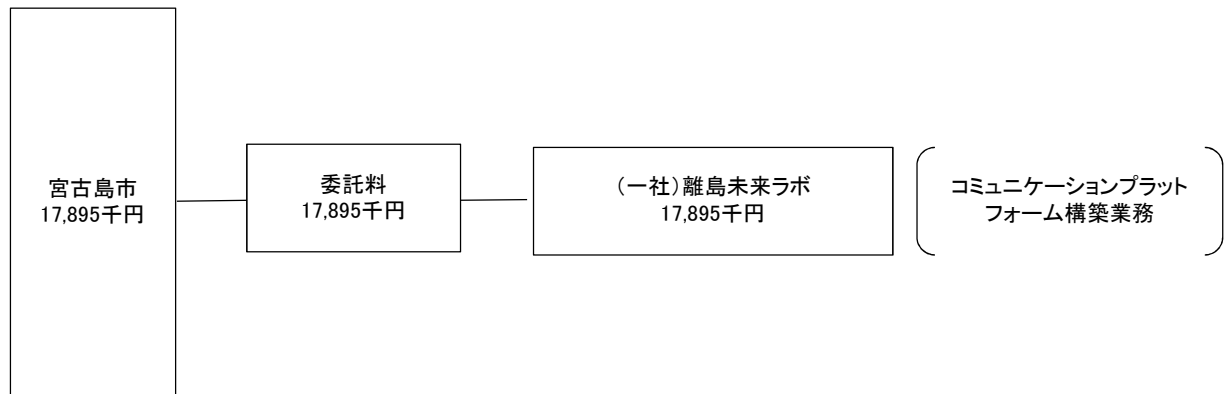
今後の取り組み方針

(イベント参加者数)
 ・イベントの内容充実とともに、市民アクション促進の取り組み(理想通貨)や企業参画促進の取り組み(企業版認定制度)との連携を図り、イベントの企画をブラッ
 シュアップしていく。

(Webページアクセス数)
 ・市民ライターの育成を継続し、より市民目線の記事やコンテンツ充実を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費
		市町村 負担金		
17,895	17,895	14,315	3,579	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託業者はプロポーザルにより決定しているので妥当であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○不用額は10%以内であり適正な規模であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については完成検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	電気自動車普及促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ウ	
担当部課名	企画政策部 エコアイランド推進課	事業実施(予定)年度	平成28~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	低炭素都市づくりの推進 III-1-(1)	
事業内容	低炭素社会構築や生活コストの低減化、生活の質(QOL)の向上を目的として、電気自動車の普及促進を図るため、平成28年度の基本計画、及び平成29年度作成の成果報告書に基づき、必要な施策の検討を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		5,000	20,000	10,000			
		5,000	20,000	10,000			
		0	0	0			
		-	-	-			
	B. 執行済額	5,000	19,975	8,947			
	うち交付金充当額	4,000	15,980	7,157			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.9%	89.5%			
	予算の状況の説明	不用額については、実証において設置した機器に係る費用を対象外経費としたため。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	EVIに関する情報発信・啓蒙	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	集合住宅への充電器整備に係る課題解決に向けた実証	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
自動車整備事業者・技術者を対象にした勉強会の実施、工業高校生を対象に出前講座の実施	目標	(実施)	()	()	()		
	実績	実施					
達成状況説明	・EVIに関する情報発信・啓蒙としてパンフレットの作成及び中古EV購入時のポイント集を作成 ・集合住宅への充電器整備について経済合理性、運用上の問題、民間参入可能性を検証した ・自動車整備事業者・技術者を対象にした勉強会の実施、工業高校生を対象に出前講座を実施した						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	EVの普及台数:320台	目標	()	(-)	(-)	(320台)	()
		実績		244台	274台	320台	
	EV整備士育成プログラム参加者数:8社・8人	目標	()	()	()	(8社・8人)	()
		実績				8社・10人	
進捗状況説明	・今年度、宮古島内においてEVが46台増加が見込まれ、全体の普及台数として320台を達成した。 ・整備士育成プログラムを実施し8社・10人の参加があった						

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(EVの普及台数) 電気自動車導入補助金や充電器設備の充実など複合的な事由により目標普及台数を達成できた。	(EVの普及台数) アンケート結果から導入に際し補助金の効果は認められるが、その他に様々な方策を検討する必要がある。
	(EV整備士育成プログラム参加者数) 前年度の取り組み結果を踏まえ、呼びかけ方法等を改善した結果、目標を達成した。	(EV整備士育成プログラム参加者数) アンケート結果等によりニーズを把握できたことから、今後は自動車整備振興会等を主体として、取り組みを進めていく必要がある。

今後の取り組み方針

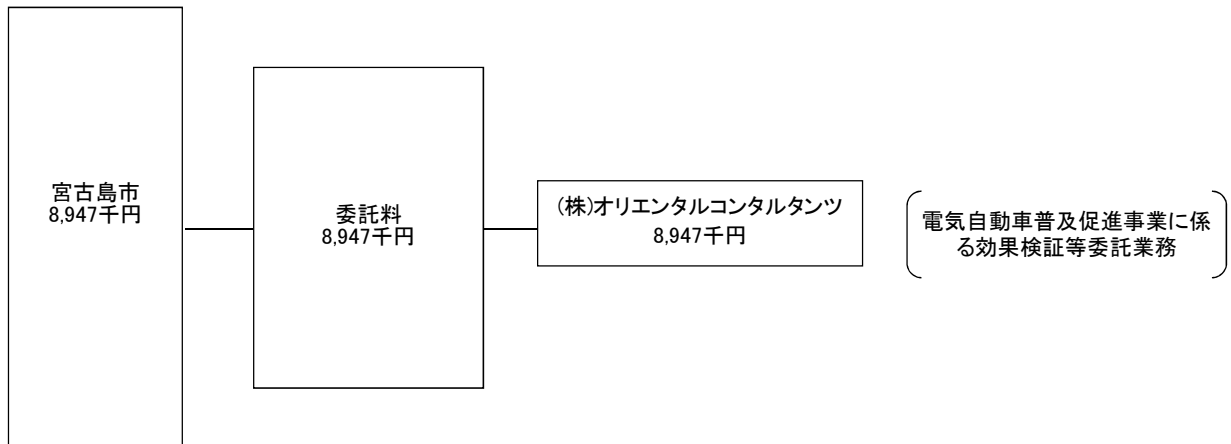
(EVの普及台数)
今後は、今年度取り組んだ集合住宅における充電環境整備実証により条件次第ではあるが、民間事業者が参入できる結果を得ることができたので、結果を公表するなどして普及が進むようにしたい。

(EV整備士育成プログラム参加者数)
今後は、自動車整備振興会等、民間主体にて人材育成を進めていくため、市として必要な協力を行っていく。

本事業は、EV普及に向けた課題の明確化と対策について検討を行ってきた。H30までの事業にて、今後対策が必要な課題として、民間主体で取り組むべき事項の他、市としては、中長期的なメンテナンス人材の育成や集合住宅居住者を含む充電環境整備等に関する事項が抽出されている。これらの対策については、交付金事業とは別途、独自に取り組んでいくこととしていることから、交付金事業としてはH30をもって終了となった。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
9,845	8,947	7,157	1,790	898



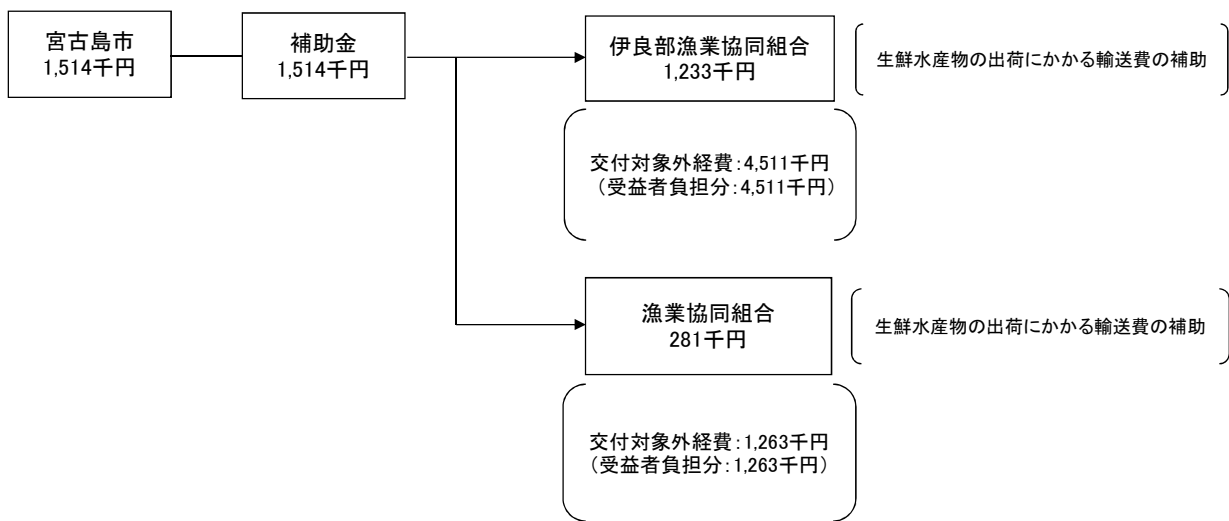
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者はプロポーザルにより決定しているので妥当であったと考えている。 ○不用額は交付対象外経費が主であり適正な規模であった。 ○費目、使途については完成検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	生鮮水産物流通条件不利性解消事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ	
担当部課名	農林水産部 水産課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興	
事業内容	離島という地理的事情から生じる流通条件の不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、宮古島市に存する漁業協同組合(宮古島漁業協同組合、伊良部漁協同組合、池間漁業協同組合)が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送に対し、補助金を交付する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		14,025	1,560	3,315	950	1,140
			1,530	1,560	491	1,206	2,218
			▲ 12,495	0	▲ 2,824	256	1,078
			—	—	—	—	—
			1,530	1,560	491	1,206	2,218
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		1,168	475	419	815	1,514
			934	379	334	652	1,211
			0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	76.3%	30.4%	85.3%	67.6%	68.3%
予算の状況の説明	輸送費の上昇により、他事業からの流用により予算1,078千円を増額した。不用額705千円は、出荷量が伸びなかったことを理由とする補助金精算の執行残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	生鮮水産物の空路輸送に対する補助(3漁協)	目標	(出荷補助(3漁協))	(出荷補助(3漁協))	(出荷補助(3漁協))	(出荷補助(3漁協))	
		実績	出荷補助(2漁協)	出荷補助(2漁協)	出荷補助(3漁協)	出荷補助(2漁協)	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	当初計画では3漁協での実施を予定していたが、宮古島漁協については本事業に充てる職員が確保できなかったため2漁協での実施となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(H23年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R3年度)
	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量(190トン)	目標	(250トン)	(255トン)	(190トン)	(190トン)	(161.9トン)
		実績		183.0トン	142.7トン	108.3トン	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平成30年度は、入域観光客数の増加等に伴い、島内需要が年々高まっていることにより目標を達成できなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○平成27年1月の伊良部大橋の開通、クルーズ船の寄港数の増加等を要因とした入域観光客数の大幅な増加等に伴い、島内需要が年々高まっていることから、島外出荷に要する数量が十分に確保できていないことが目標値未達成の要因と考えられる。</p> <p>(・入域観光客数 H26年度 43万人、H27年度 51.3万人、H28年度 70.3万人、平成29年度 98.8万人、平成30年度 114.3万人)</p> <p>(・クルーズ船の寄港実績 H27年度 13回、平成28年度 86回、平成29年度 147回、平成30年度 153回 *平成27年に10年ぶりの寄港があり、以後、年々増加していく機運にある。)</p>	<p>○目標値達成に向けて事業実施者との間で意見交換等の協議を随時行い、島内需要の現状確認等の情報共有を図る必要がある。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>○事業対象である3漁協の実施に向けて意見交換等を行い引き続き事業実施のサポートに取り組む。</p> <p>○島内需要の高まりを受け、島外出荷を抑え、島内出荷を優先する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付対象外経費	
7,288	1,514	1,211	303	5,774



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助対象事業者である漁協は水産業協同組合法に基づき私的独占の禁止が謳われた組織であることから、支出先として妥当であると考えられる。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△輸送費上昇に伴い、補助金が足りない見込みとなり別事業から予算流用を行い対応したが、見込額ほど執行額が伸びなかったこと等を要因として、執行率が低くなったため、適正な規模であったとは言い難い。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○輸送費の実績値に対し要綱に基づき算定された額を補助しているため負担関係としては妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については遂行状況や実績報告でその都度確認を行っており、精算時の検査により目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-③	来間東航路標識灯設置事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-1		
担当部課名	農林水産部 水産課	事業実施 (予定)年度	平成30~令和元年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	農林水産業の振興		
事業内容	安全な夜間航行に資するため、同航路に航路標識灯(灯標)3基を設置するための、調査測量設計業務を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	11,736				
		(b)予算現額	11,735				
		(c)増減額(b-a)	▲1				
		(d)繰越額	—				
		A.計(b+d)	11,735				
	B.執行済額		11,735				
	うち交付金充当額		9,388				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業計画どおりに委託業務を執行できた。入札残により生じた不用額1千円を減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	来間東沖標識灯設置調査測量設計の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	予定していた調査測量設計業務を実施した。 業務の内容 1. 土質調査(海底地盤の土質調査) 2. 現地測量(現地の海底高等を測量) 3. 設計業務(調査測量により設置力所や標識灯の規格等の設計)						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R2年度)
	来間東沖標識灯設置調査測量設計の完了	目標	()	(調査測量設計業務の完了)	()	()	()
		実績		調査測量設計業務の完了			
	【R2成果目標】 来間東航路夜間航行事故発生の防止発生件数0件を目標にする。	目標	()	()	()	()	(0件)
		実績					
進捗状況説明	年度期間内に完了し、適切に執行された。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 計画していたとおり来間東沖標識灯設置調査測量設計を実施し、航路標識灯を適切に設置するための準備が整った。 	<ul style="list-style-type: none"> 航路標識設置完了後に、漁業者への周知を図る。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 策定した設計を基に航路標識灯設置工事を行う。 航路標識灯の設置について漁業者へ周知を行い、安全意識の向上を図る。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	11,735	11,735	9,388	2,347	0
<pre> graph LR A[宮古島市 11,735千円] --> B[委託料 11,735千円] B --> C[株式会社 新生建設コンサルタント 11,735千円] </pre> <p>(来間東沖標識灯設置調査測量設計委託業務)</p>					

資金の流 れ 点 検 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予定額は適正である。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	救命処置普及強化支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	消防本部 総務課	事業実施 (予定)年度	平成28~令和2年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	観光客や市民等に重篤な傷病者が発生した際の応急体制を確保するため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a)当初予算額	18,495	7,402	7,411		
		(b)予算現額	18,495	7,893	7,411		
		(c)増減額(b-a)	0	491	0		
		(d)繰越額	-	-	-		
		A. 計(b+d)	18,495	7,893	7,411		
	B. 執行済額		16,007	7,893	7,386		
	うち交付金充当額		12,805	6,315	5,909		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		86.5%	100.0%	99.7%		
予算の状況の説明		事業計画通り、予算執行した。不用額25千円は共済費の執行残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	救命講習普及支援員3名の配置	目標	(3名)	(3名)	(3名)	()	
		実績	3名	3名	3名		
	定例救命講習会の実施:21回 (普通救命講習Ⅰ/15回、普通救命講習Ⅲ/3回、上級救命講習/3回)	目標	((Ⅰ/15回、Ⅲ/3回、上級/3回))	((Ⅰ/15回、Ⅲ/3回、上級/3回))	((Ⅰ/15回、Ⅲ/3回、上級/3回))	()	
		実績	(Ⅰ/17回、Ⅲ/0回、上級/1回)	(Ⅰ/12回、Ⅲ/3回、上級/3回)	(Ⅰ/11回、Ⅲ/2回、上級/3回)		
	出前救命講習会の実施:随時受付開催	目標	(開催)	(開催)	(開催)	()	
		実績	開催	開催	開催		
	救命講習に関する普及啓発活動	目標	(実施)	(実施)	(各種イベント等、地元ケーブルテレビ・ラジオで広報活動)	()	
		実績	実施	実施	出初式、防災フェア、防火委員会、宮古テレビ、FM宮古、広報誌		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様、専属の普及支援員を配置し、市民を対象に定例講習会、出前救命講習会を実施した。 ・定例講習会では受講者が最少催行人数に満たず未開催となることがあり、開催数目標達成には至らなかった。 ・定例の申込みが減少した分、受講者のニーズに応えた出前講習会等を積極的に開催することで目標値を達成することができた。? ・広報活動による出前講習が浸透し、受講者の要望に応え夜間、土日の開催も増やし対応した。 						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (R1年度)
			()	(1,000名)	(1,000名)	(1,500名)	(1,700名)
	各種救命講習会の受講者数:1,500人/年			1,326名	1,608名	1,646名	
進捗状況説明	各種救命講習会の受講者数は、目標値1,500人を上回る1,648人となり、市民に対する応急手当に関する正しい知識と技術の普及を促進することができた。						

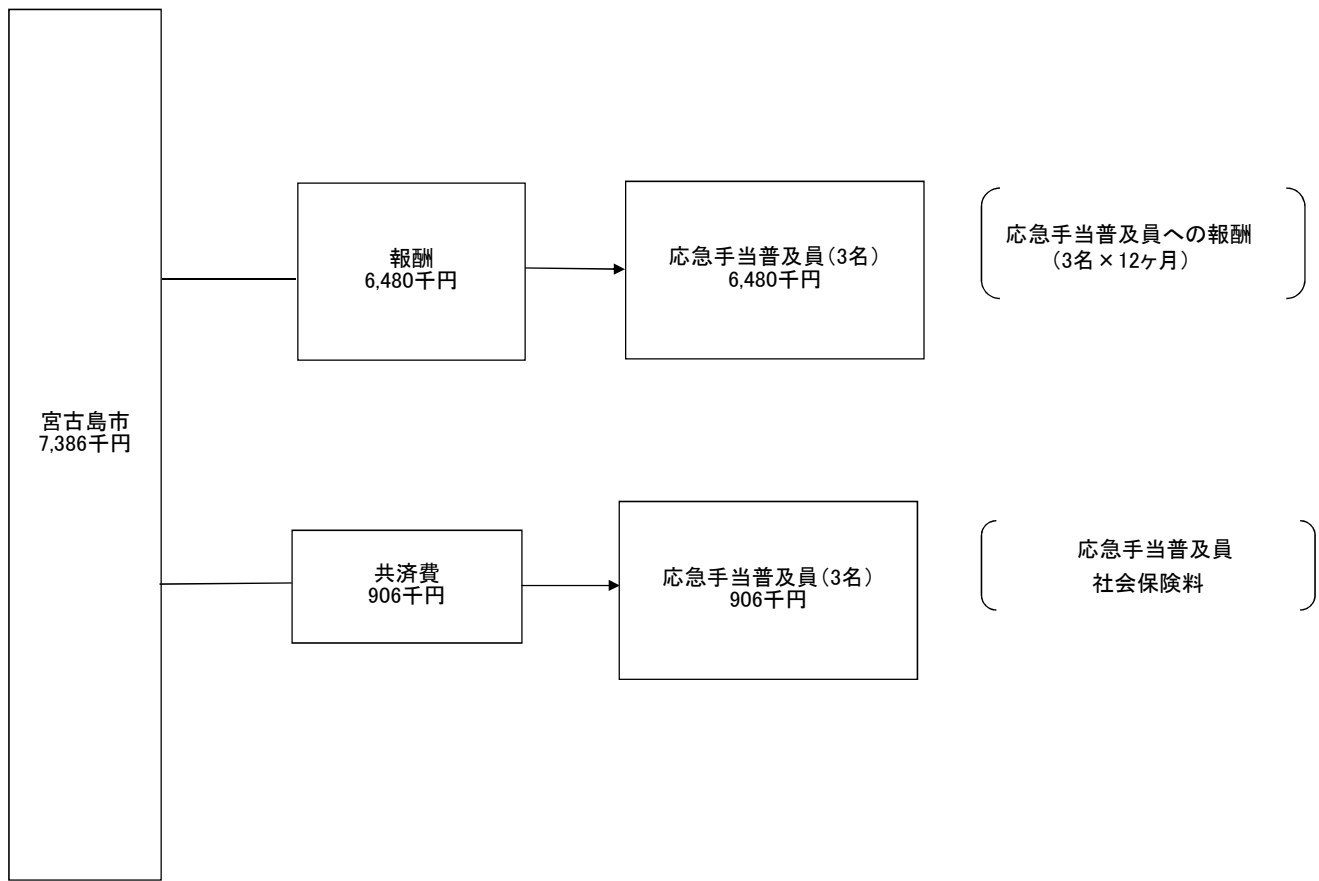
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・定例救命講習会については最少催行人数に満たず未開催となることがあったが、出前救命講習会を受講者のニーズに応え夜間や土日開催を増やしたことが目標値達成の要因と考えられる。</p>	<p>・未受講者への呼び掛けや再受講者への周知を強化し、受講者数の増を目指す。</p>

今後の取り組み方針

・市内で開催されるイベント時に各種救命講習会の周知活動を行い、受講者のさらなる増加を目指す。
 ・さらに質の高い心肺蘇生法の実施を目指し、受講者の習熟度を把握、評価するため講習修了者にアンケート調査を実施し、適切な応急手当が理解できたかを含め本事業のあり方を検証する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,386	7,386	5,909	1,477	0



資金の流点、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先選定方法における応急手当普及員については有資格者を募集採用しているため、妥当であった。 ○事業の適切な運営に伴い、予算執行も適切に行われた。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	水難救助体制強化整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	消防本部 総務課	事業実施 (予定)年度	平成29~30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	水難救助体制の強化を図るため、水難救助車・災害支援車を導入し、観光客及び市民の水難事故等に迅速に対応する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,566	74,185			
		(b)予算現額	4,566	70,740			
		(c)増減額(b-a)	0	▲3,445	0	0	0
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	4,566	70,740	0	0	0
	B.執行済額		4,428	70,740			
	うち交付金充当額		3,542	56,592			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		97.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画通りに執行することができた。入札残による備品購入費3,445千円を減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	水難救助車1台の購入	目標	(1台購入)	()	()	()	
		実績	1台購入				
	災害支援車1台の購入	目標	(1台購入)	()	()	()	
		実績	1台購入				
達成状況説明	水難救助車1台、災害支援車1台を購入し消防署に配備完了。 当該車両を導入したことで、本市の水難救助体制を強化することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R1年度)
	水難救助車の配備完了(1台)	目標	()	(配備)	()	()	()
		実績		配備完了			
	災害支援車の配備完了(1台)	目標	()	(配備)	()	()	()
		実績		配備完了			
	【R1成果目標】 本水難救助車と災害支援車を活用した水難救助訓練の実施(33回/年)による、水難救助車等の活用方法の検証。	目標	()	()	()	()	(訓練(33回/年))
実績							
進捗状況説明	平成31年2月25日に消防署に水難救助車及び災害支援車を配備完了し運用が開始された。これにより、宮古島市の水難救助体制の強化が図られた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>水難救助車及び災害支援車の配備完了により、水難救助体制の強化が図られた。今後は、海上保安部及び警察等の各関係機関との連携強化に向けて取り組む必要がある。また、水難事故の大半は観光客である為、関係機関と水難事故防止への取組と啓発を進めていく必要がある。</p>	<p>水難救助体制の強化を図り観光客及び市民の安全を確保するためには、当該車両を活用した訓練を実施し、海上保安部及び警察等の各関係機関との連携を密にすることが必要不可欠となってくる。また、観光客に向けての水難事故防止啓発活動を実施することで水難事故等を未然に防げる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>各関係機関との定期的な合同訓練を通して綿密な連携を構築し、更なる救助体制の強化を図る。また、海浜パトロール等を実施し観光客へ水難事故防止を訴え、未然に事故を防止する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	70,740	70,740	56,592	14,148	0
<pre> graph LR A[宮古島市 70,740千円] --> B[備品購入費 70,740千円] B --> C[沖縄日野自動車株式会社 27,648千円] B --> D[株式会社オカノ 43,092千円] C --- E[水難救助車1台] D --- F[災害支援車1台] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者の選定及び入札等は指名競争入札により決定しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、見積もりを徴収して積算しており適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	課題を抱える児童生徒の支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ 豊かな心とたくましい体を育む 教育の推進	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	生徒指導上課題のある児童生徒の生活環境改善のため、個々に応じた支援の充実に向けて、教育委員会にスクールソーシャルワーカーを配置する。また、課題を抱えた児童生徒が在籍する学校に、適切な指導・支援の取組強化のための問題行動学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		14,987	14,962	14,960	15,068	15,167
			14,987	14,962	14,960	13,912	15,167
			0	0	0	▲ 1,156	0
			-	-	-	-	-
			14,987	14,962	14,960	13,912	15,167
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		14,319	13,823	14,757	13,621	12,570
			11,455	11,057	11,805	10,897	10,056
			0	0	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	95.5%	92.4%	98.6%	97.9%	82.9%
予算の状況の説明	問題行動等学習支援員の配置の遅れ、1名欠員とスクールソーシャルワーカーの途中退職、休暇等により人件費の不用が2,597円となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	スクールソーシャルワーカーの配置	目標	(6人配置)	(6人配置)	(6人配置)	(6人配置)	
		実績	6人配置	6人配置	6人配置	6人配置	
	問題行動等学習支援員の配置	目標	(3人配置)	(3人配置)	(3人配置)	(3人配置)	
実績		3人配置	3人配置	3人配置	2人配置		
達成状況説明	・スクールソーシャルワーカーは6名配置予定であったが10月末に1名退職、12月に1名途中採用。1名が2月から病休で2月末で退職した。 ・スクールソーシャルワーカーは市内32校(小学校18、中学校14)に1人4~6校の分担で配置、支援を要する児童生徒の生活環境の改善を図り働きかけを行った。 ・問題行動等学習支援員は市内中学校3校に3名配置の予定であったが、人材確保に苦慮し中学校2校に2名の配置となった。問題行動等の生徒の教育相談及び学習支援を行った。また、登校支援及び体験活動の支援などを行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値 (年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (年度)	
	不登校児童生徒復帰率50%以上 (のべ復帰者/のべ不登校者)	目標	()	(生活改善)	(50%以上)	(50%以上)	()
		実績		生活改善	35%	25%	
	(空欄)	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	・登校復帰率は25%となり、小中学校いずれも前年度より低下、目標は未達成となった。 ・中学校において、登校復帰をした生徒の71%は問題行動等学習支援員を配置した2中学校の生徒であった。						

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に届かなかった理由として、子どもたちを取り巻く環境の複雑化に伴いスクールソーシャルワーカーへのニーズも多様化、複雑化しており、対応が困難になっていることが考えられる。 ・目標とする登校復帰とはならなかったものの、下記に記載のとおり支援を行い不登校児童生徒の約80%は週1～3日程度は登校できている。 ①登校支援や学校での居場所の確保など児童生徒の抱える課題に対して、教員との連携を図って個別に支援を行った。 ②不登校の児童生徒の保護者には経済的・精神的にゆとりがない等の傾向や学校に通わせることが絶対ではないという意識の者も増えているため関係機関との情報共有・連携の元、保護者への支援を行った。 ・スクールソーシャルワーカーの資質向上のため研修会へ参加させているが、島外での研修が多く、参加が難しいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き課題のある児童生徒及びその保護者に対して、学校や福祉事務所等関連施設と連携をとりながらきめ細かな支援を行い登校復帰につなげていく。 ・インターネットを活用し遠隔研修等を導入して研修会への参加を増やし、スクールソーシャルワーカー、問題行動等学習支援員の資質向上を図る。

今後の取り組み方針

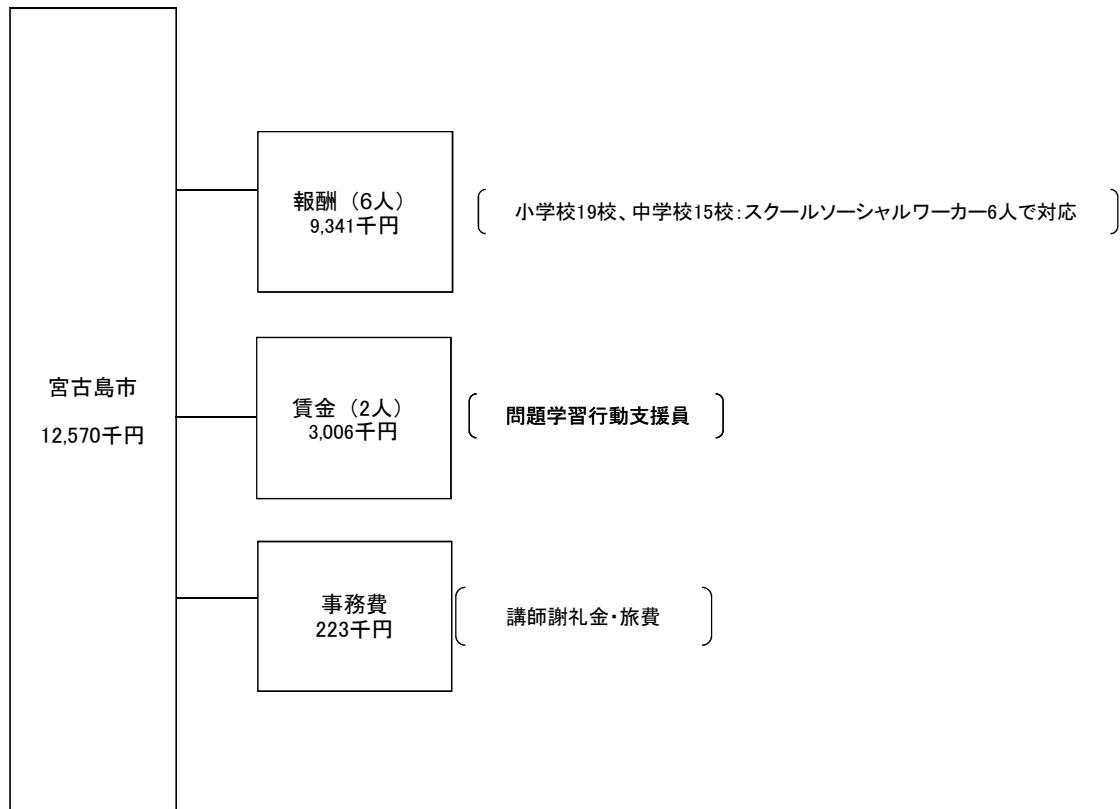
・学校との連携がスムーズにいくように学校訪問による事業の周知と生徒指導研修会、校長研修会、教頭研修会などで、効果的な連携支援について推進していく。

・連携を必要とする福祉部や保健部等、医療や警察など関係機関連絡会の開催を通して、宮古島市全体の子供の状況を共有化し連携を強化する。また、問題行動等学習支援員、スクールソーシャルワーカーの学校の現状に応じた効果的な派遣を図る。

・事例検討会、講習会等への参加を増やしてスクールソーシャルワーカー・問題行動等学習支援員の資質向上を図るとともに、スーパーヴァイザー的な人材を確保する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

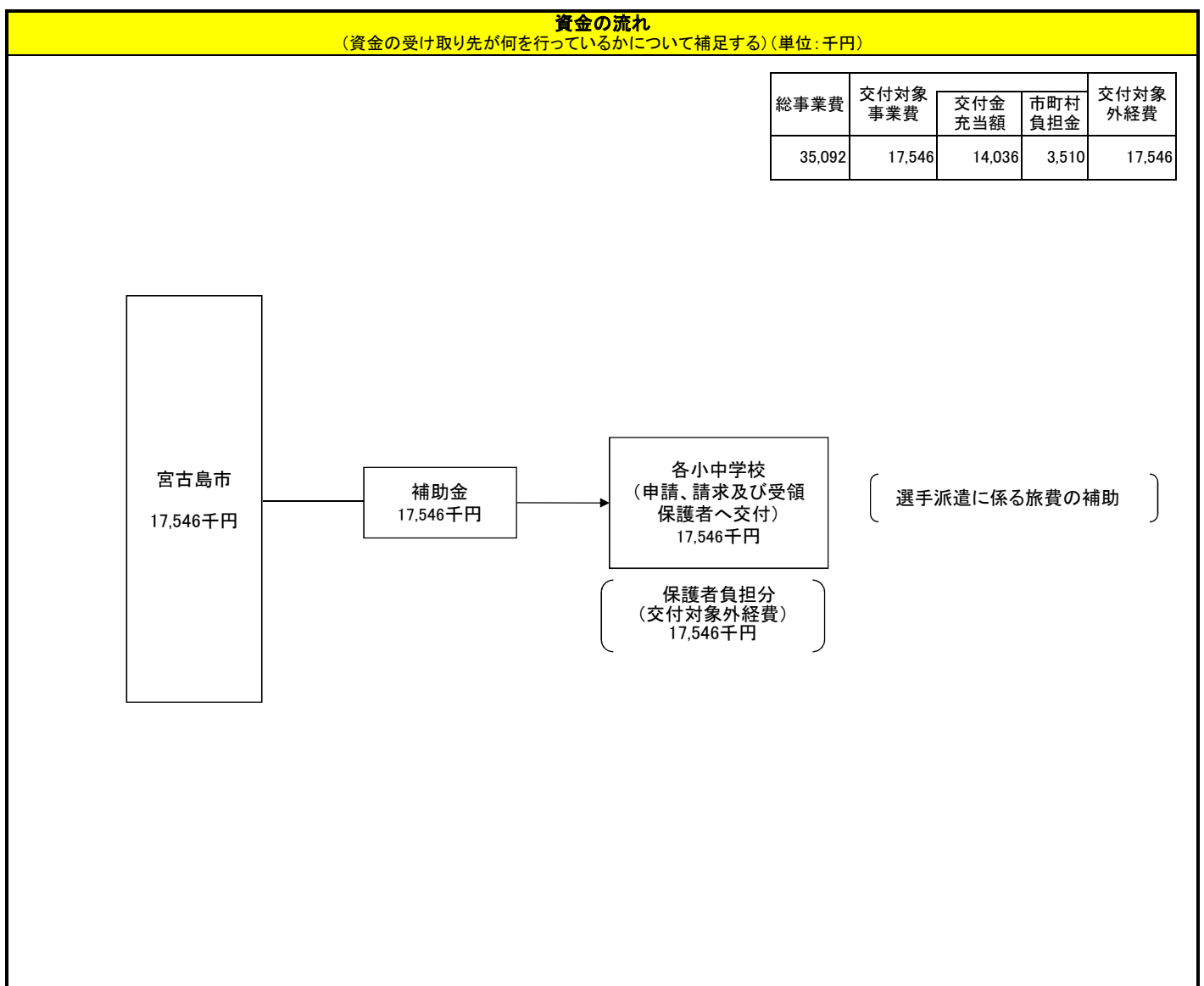
総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
12,570	12,570	10,056	2,514	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○スクールソーシャルワーカー等の選定は、専門的な知識や技術、経験等に基づいており妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○長期実績を踏まえたSSW配置人数は適正で、その報酬額は本市要綱に基づき予算化しており、事業内容に見合った適正規模であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、報酬をはじめSSWの資質向上に向けた研修会派遣など、事業目標達成の観点から真に必要なものであったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については、報酬をはじめSSWの資質向上に向けた研修会派遣など、事業目標達成の観点から真に必要なものであったと考える。

市町村名		宮古島市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	選手派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	教育機会の拡充	
事業内容	宮古島市立学校のスポーツ・文化活動を振興するため、対外行事・試合などの奨励に資するとともに、参加する児童生徒の派遣にかかる費用の保護者負担を軽減する目的で、地区選抜代表選手等に対し、航空運賃に係る費用の一部を補助する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	15,591	15,590	15,198	16,121	16,189
		(b) 予算現額	15,591	16,600	15,198	16,121	17,589
		(c) 増減額(b-a)	0	1,010	0	0	1,400
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		15,591	16,600	15,198	16,121	17,589
	B. 執行済額		13,020	15,985	13,467	16,095	17,546
	うち交付金充当額		10,461	12,788	10,773	12,875	14,036
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		83.5%	96.3%	88.6%	99.8%	99.8%
予算の状況の説明		すべての補助申請に対応するため、1,400千円を増額流用した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	児童生徒の大会派遣(県内・県外)	目標	(児童生徒の大会派遣)	(児童生徒の大会派遣)	(児童生徒の大会派遣)	(児童生徒の大会派遣)	
		実績	児童生徒の大会派遣	児童生徒の大会派遣	児童生徒の大会派遣	児童生徒の大会派遣	
目標		()	()	()	()		
実績							
達成状況説明	スポーツや文化面で地区代表選手等として島外へ派遣される延べ1995人の児童生徒【小学生(県内)777人(県外)78人、中学生(県内)1090人(県外)50人]に対し旅費を補助し、保護者の経済的負担軽減を図った。 ○主な派遣先 ・小学生:第65回全沖縄学校音楽発表会(沖縄本島)104人、第2回小早川陸景杯軟式少年野球大会(広島県)18人、第41回沖縄県ミニバスケットボール夏季大会(沖縄本島)60人 ・中学生:第58回沖縄県吹奏楽コンクール(沖縄本島)88人、第47回九州中学校卓球競技大会(鹿児島県)10人						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)
	・H30成果目標(指標) 児童生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する	目標	()	(80%)	()	()	()
		実績		76%			
	目標		()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	・アンケート結果「児童生徒が広い視野を持たせた」と回答したのは76%であり、目標には到達できなかった。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	今回のアンケートの回答方法は「島外への大会へ参加したことにより、どのような影響がありましたか」という問いに、成果を選択させる方式であった。結果は概ね好評であり、「広い視野を持つことができた」という回答をしない場合でも他の回答(新たな目標が持てた、他の学校の子どもたちとの交流ができた)を合算すると80%を超えることから広義の意味では広い視野の獲得に貢献しているといえる。よって、成果目標80%以上を達成できなかった理由としてはアンケートの取り方に問題があり、本補助事業としての課題はないと分析する。	成果目標の問いを別に設け、「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいいえ」「いいえ」の4段階で回答させることで適切に成果目標成果の達成度を測る。
	今後の取り組み方針	
・保護者アンケートの内容を改善し、より学校現場等からの意見を取り入れやすい環境作りを目指す。		



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○派遣される児童生徒を取りまとめる学校長を支出先とする事は適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率は99.8%となっており適正な規模である。すべての補助申請に対応するため、1,400千円を増額流用した。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○航空運賃に対する一部補助であり、受益者である保護者の負担もあることから、負担関係は妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、交付要綱に基づいた目的に限定して検査及び交付している。

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-③	地域連携小中学校吹奏楽環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア 地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成		
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	市内小中学校の吹奏部において、楽器が不足しており十分な練習活動ができないことから、技能習得や音楽活動に対する意欲向上及び音楽活動を通じた地域活動への参加の機会に支障を来す状況にある。 必要な楽器を整備し、児童生徒の意欲向上及び地域活性化を図る。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和元年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額	30,482				
		(b)予算現額	25,088				
		(c)増減額(b-a)	▲ 5,394				
		(d)繰越額	—				
		A. 計(b+d)	25,088				
	B. 執行済額		25,088				
	うち交付金充当額		20,070				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画とおり事業執行を行い、入札残が生じたことから5,394千円の減額を行った。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	吹奏楽器の整備(小学校4校 中学校2校)	目標	(小学校4校 中学校2校)	()	()	()	
		実績	小学校4校 中学校2校				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	計画に沿って、小学校4校に65台、中学校2校に37台の吹奏楽器を整備した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R1年度)
	楽器整備完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R1成果目標】 ・楽器の整備により部員の音楽に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、部活動のあり方についてアンケート調査により検証する。 ・楽器購入後に参加した複数のイベントへの総来場者数:6,000	目標	()	()	()	()	(80% 6,000人)
		実績					
進捗状況説明	楽器を整備したことにより練習活動の充実が図られた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校の吹奏楽部では楽器が不足していたことから、練習機会の確保が難しく、楽器演奏の技術習得に支障を来し、また音楽活動への意欲低下が懸念されていた。 計画通り必要な楽器を整備することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備した楽器を最大限有効に活用するための仕組みづくりを行う。 整備した楽器が常に良い状態であるよう、楽器の取扱いについて十分に注意を払う。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校の吹奏楽部で楽器の保有状況を共有し、活用を図る。 児童生徒に対し、楽器の取扱いの指導を徹底する。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	25,088	25,088	20,070	5,018	0
<pre> graph LR A[宮古島市 25,088千円] --> B[備品購入費 25,088千円] B --> C[島音家 25,088千円] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>					

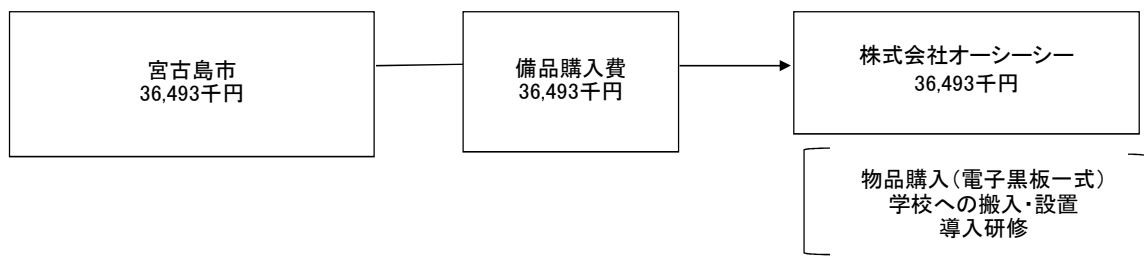
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は見積もり徴取により積算したが、落札率が68% だったことから入札残の減額補正を行った。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目 的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-④	電子黒板整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-7		
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成30~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	わかりやすい授業を構築し学校教育の質の確保を図るため、平成30年度は市内小中学校7校の普通学級及び特別教室に109台の電子黒板を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	60,793				
		(b) 予算現額	36,493				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 24,300				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	36,493				
	B. 執行済額		36,493				
	うち交付金充当額		29,194				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		入札残により生じた24,300千円を第4回変更申請で減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	電子黒板の整備 小学校31台 中学校43台 小中一貫校18台		目標 (92台)	()	()	()	
			実績	109台			
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・電子黒板を以下の通り整備した。 小学校30台 中学校59台 小中一貫校20台 ・電子黒板導入の効果測定をより信頼性のあるものにするため、整備を早期に進めることで活用機会を増やす必要があると考え、次年度整備予定の中学校のうち比較的大規模でネットワーク環境の整った中学校への整備を前倒しで実施したことから、予定数を上回る数での整備となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	電子黒板の整備完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R1成果目標】 児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	12月末の交付決定後速やかに入札を実施し、予定通り年度内整備が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施をする背景としてわかりやすい授業の構築と学校教育の質の確保が課題としてあり、その解決のためには整備後の利活用サポートと利活用状況の把握が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の充実やICT支援員の派遣により、利活用を促すとともに効果的な活用方法を市全体で共有する仕組みをつくる。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒及び教職員へのアンケート調査を実施し、わかりやすい授業の構築と学校教育の質の確保が図られているか確認を行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
36,493	36,493	29,194	7,299	0



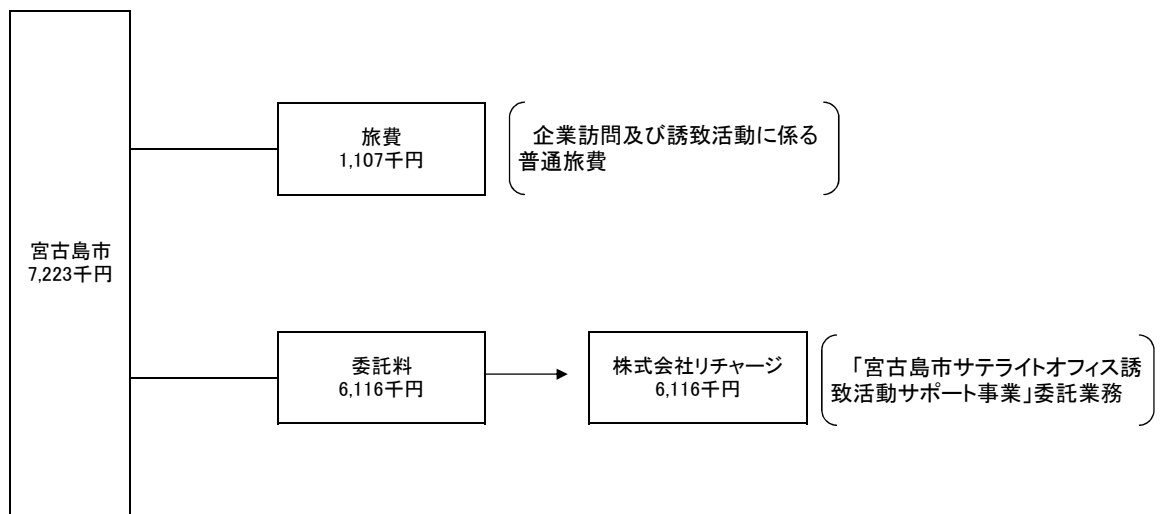
資金の 使途の 流れ 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○事業者は競争入札で選定されており、妥当であった ○予算規模は見積もり徴取により積算し入札残の減額補正を行った。 ○備品購入のみの事業であり事業目的に即し適切であった
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	「テレワーク@宮古島」事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ	
担当部課名	企画政策部 情報政策課	事業実施 (予定)年度	平成28~30年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 Ⅲ-9	
事業内容	離島における情報通信関連産業の振興並びに地場産業の新たな展開に向け、情報通信関連企業のサテライトオフィス誘致に向けた検討委員会の開催、企業訪問及び誘致活動を行う。 また、誘致事業者のサテライトオフィスとして利用するため既存施設の機能強化を行う。 情報通信関連企業の誘致により新規就業者を創出するため、宮古島市への開設意欲のある企業への訪問による誘致活動、現地ツアー開催による島内企業とのビジネスマッチング等を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和元年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H28年度	H29年度	H30年度		
		(a) 当初予算額	9,308	11,828	7,943		
		(b) 予算現額	9,308	20,335	7,943		
		(c) 増減額(b-a)	0	8,507	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計(b+d)	9,308	20,335	7,943		
		B. 執行済額	6,525	18,067	7,223		
		うち交付金充当額	5,220	14,453	5,778		
		次年度繰越額	0	0	0		
		執行率(%) (B/A)	70.1%	88.8%	90.9%		
予算の状況の説明	・不用額(720千円)が発生しているが、概算契約で締結した委託業務における業務完了時の積算(△440千円)、旅費については企業誘致活動が5回を4回と1回分減や航空券割安購入などにより費用の縮減(△280千円)を進めた。事業は計画の内容をおおむね実施されている。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		企業訪問	目標	(実施)	()	()	()
			実績	実施			
		ビジネスマッチング交流会の開催	目標	(2回)	()	()	()
			実績	2回			
		協議会の開催	目標	(1回)	()	()	()
			実績	2回			
		宮古島市役所下地庁舎機能強化	目標	(実施)	()	()	()
			実績	未実施			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問について、セミナーを開催することで多くの企業に対し誘致活動を行った。 ・ビジネスマッチング交流会は、計画通り2回開催し、15社の参加があった。 ・協議会の開催は、計画より多く2回開催した。 ・宮古島市役所下地庁舎機能強化については、総務省事業で実施することが出来たので、本事業では実施しなかった。 						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度		目標値 (R1年度)	
		・ビジネスマッチング件数 2社以上	目標	()	(2社)	()	()
			実績		1社		
		【R1成果目標】 新規就業者4人以上	目標	()	()	()	(4人)
			実績				
		進捗状況説明	・ビジネスマッチング交流会を2回行い15社が参加。平成30年度中のビジネスマッチングについては、平成29年度に参加した事業者と市内小中高校との交流事業が実施された。				

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	誘致セミナー、マッチング交流会にて、以下の課題が判明した。 ①企業のマッチング、地域交流、イベント開催などを効果的に実施できるコミュニケーションが必要 ②短期・長期、個人・団体など様々な滞在形態に対応できる居住施設が必要	①指定管理制度による民間事業者の活用、国の人材育成事業の活用など、長期的な人材確保を検討する。 ②島内では、賃貸物件の供給が追いつかない状況であり、不動産業者以外の民泊やキャンピングカーなど様々な対応策を検討する。
今後の取り組み方針		
①早期に指定管理制度を活用した民間事業者による施設運営を実施、平行して、国の人材育成事業などで地域における運営に必要な人材育成に取り組む。 ②不動産情報に頼らない地域の民泊施設、空き家の民泊利用、キャンピングカー事業者などと情報交換を行い、入居企業の要望に対応できる体制を構築する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,223	7,223	5,778	1,445	0



資金の流 れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は、見積書を出して頂き、精査・積算を行い、適正な規模になるよう努めている。 ○業務委託に関しては、出来高での支払になっており必要な金額を精査し支払を行っている為、必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-②	高等教育機関の設置検討事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-エ		
担当部課名	企画政策部 企画調整課	事業実施(予定)年度	平成28~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活圏の充実		
事業内容	宮古島市における高等教育機関の設置に向けて、学校経営等の実証に向けた基盤整理のための調査・検討を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,804	7,344	46,039		
		(b) 予算現額	6,804	7,344	32,959		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 13,080		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計(b+d)		6,804	7,344	32,959		
	B. 執行済額		5,106	6,921	23,141		
	うち交付金充当額		4,805	5,537	18,512		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		75.0%	94.2%	70.2%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初予定していた業務委託内容の見直したことに伴い、予算額が圧縮されている。不用額9,818千円は、業務委託を公募型プロポーザル方式にて実施し、事業者からの企画提案額にて契約を締結したため生じたものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	高等教育機関の設置に向けた調査・検討業務の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成29年度開催の設置検討委員会において、今後の取組の考え方として示された以下の点を実施した。 ・高等教育機関の設置に必要な施設要件や地域と学校法人の協働体制構築に向けた調査・検討。 ・「離島での高等教育機関設置のリスク軽減を図る実証事業」の実施に向けた調査・検討。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R1年度)
	高等教育機関の設置に向けた調査・検討業務の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R3年度成果目標】 実証を行う高等教育機関1校以上	目標	()	()	()	()	(1校以上)
		実績					
	進捗状況説明	・法的要件や環境条件の調査など学校設置に関連する施設要件を整理するとともに、地域と学校法人の協働体制構築に向けたワークショップを開催した。 ・次年度に実施を計画している「離島での設高等教育機関設置のリスク軽減を図る実証事業」について、実施内容や検証・評価体制等を立案した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・協働体制構築に向けたワークショップは、教育(中学校・高校)、経済(観光協会等の経済団体、地元企業)、金融(銀行)など多様な分野から参画をいただき、広く意見が聴取できる開催に努めた。 ・実証事業の検討にあつては、既存の学校法人にヒアリングを行い、実際の学校経営に近似する形態での検証・評価内容が立案できるよう留意し、進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働体制の構築に向けては、多くの機関からの協力を得るために、一過性でなく、今後も継続的に意見交換等を実施する必要がある。 ・次年度の実証事業にあつては、学校法人ヒアリングにより把握された「既存学校の類似内容だけでなく、宮古島市らしさ・宮古島市ならではの折り込むことが重要」との意見を踏まえて、取組を進める必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>今年度事業の成果を踏まえ、「離島での設高等教育機関設置のリスク軽減を図る実証事業」の実施に取り組む。 なお、実証事業の実施にあつても、教育・経済・金融等の関係機関との連携・意見交換を継続していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	23,141	23,141	18,512	4,629	0
<pre> graph LR A[宮古島市 23,141千円] --> B[委託料 23,141千円] B --> C[有限責任監査法人トーマツ 23,141千円] subgraph D [高等教育機関の設置具体化に関する調査検討委託] C end </pre>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定は公募型プロポーザル方式にて実施し、公平かつ公正な決定により執行している。</p> <p>○予算規模においては、複数事業者より見積を徴し積算を行う等、適正な規模の確保につとめている。</p> <p>○業務委託は概算契約により締結し、完了時に事業対象となる経費のみ精算しており、必要な使途に限定している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	平良港総合物流センター整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ		
担当部課名	建設部 港湾課	事業実施 (予定)年度	平成29~令和2年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	人流・物流を支える港湾の整備		
事業内容	平良港において近年増加する取扱物流量に対応できるようにするため、平良港総合物流センターを整備するための基本設計を策定する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	6,362	15,325			
		(b)予算現額	6,362	10,260			
		(c)増減額(b-a)	0	▲5,065			
		(d)繰越額	—	—			
		A.計(b+d)	6,362	10,260			
	B.執行済額		6,022	10,260			
	うち交付金充当額		4,817	8,208			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		94.7%	100.0%			
予算の状況の説明		入札残により、5,065千円の減額となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	基本設計の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	H29年度の基本計画を基に基本設計を策定した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)
	基本設計の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R3年度 成果目標】 取扱物流量	目標					(132kt)
		進捗状況説明	H29年度の基本計画を基に基本設計(計画概要、配置計画、平面計画、断面計画、立面計画、構造計画、電気設備計画、機械設備計画工事概算事業費)を策定した。				

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	令和元年度の実施設計にむけて、設計概要や配置計画を決定した。	令和元年度 実施設計時において、さらなる精査を行う。
今後の取り組み方針		
令和元年度に実施設計、令和2年度に本体工事を行い令和3年4月に供用開始を予定している。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	10,260	10,260	8,208	2,052	0
<pre> graph LR A[宮古島市 10,260千円] -- 委託料 10,260千円 --> B[有限会社 ヤマサト設計 10,260千円] B --- C[基本設計] </pre>					

資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であった。 ○予算規模は複数社より見積書を徴収し、精査・積算を行い、適正な規模になるよう努めている。 ○費目・用途については精査段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	地下水保全調査事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所				
担当部署名	上下水道部 水道総務課	事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度				
			沖縄振興基本方針 該当箇所				
事業内容	地下水を唯一の淡水資源とする本市では、水道水源の保全が社会の成立要件となっていることから、持続的な社会を構築するため、地下水の保全に取り組むための塩水進入状況等調査、水源可能性基礎調査を行う。 ①平良地下水流域の塩水進入状況等調査 ②伊良部島における水源可能性基礎調査						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H29年度	H30年度	R1年度		
		(b) 予算現額	104,328	37,000			
		(c) 増減額(b-a)	98,388	34,560			
		(d) 繰越額	▲ 5,940	▲ 2,440			
		A. 計(b+d)	—	—			
	B. 執行済額	98,388	34,560				
	うち交付金充当額	78,710	27,648				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	予算の状況の説明	入札残により、2,440千円の減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度			
	①平良地下水流域の塩水進入状況等調査	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	②伊良部島における水源可能性基礎調査	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
達成状況説明	①現在ニヤーツ水源地のある平良地下水流域は、水道水源保全地域に指定されていない。そのため、塩水状況、流域界を確定し、ニヤーツ水源地に影響を及ぼし得る範囲を水道水源保全地域に設定する必要がある。平良地下水流域の塩水進入状況等調査については、今回の調査では塩水進入状況並びに平良地下水流域界の特定を図るべく、ボーリング調査、電気伝導率測定を行った。 ②伊良部島の地下水は淡水レンズとされ、開発可能な地下水は少ないことに加え、硝酸性窒素濃度も高いことから現在は宮古本島より水道水を送水している。しかし、観光客の増加、地震等に伴う断水の可能性を踏まえると伊良部島においても、予備的水源を確保する必要がある。今回の水源可能性基礎調査では、伊良部島の水利地質を把握する為に、既設井戸の水質調査、ボーリング調査、電気伝導率測定を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)	
			①平良地下水流域の塩水進入状況等調査の完了	目標	(完了)	()	()
	②伊良部島における水源可能性基礎調査の完了	実績		完了			
		目標	(完了)	()	()	()	
	【R2成果目標】 伊良部島における予備水源地の確保のための取組につなげる。	実績		完了			
		目標	()	()	()	()	
進捗状況説明	①平良地下水流域の塩水進入状況等調査については、塩水境界が当初想定されていた位置に比べて、内陸側に位置することが推測できることとなった。また宮古空港側でのボーリング調査で地下水位が確認できなかったため、宮古空港付近には地下水が存在しないと考えられる結果となり、平良地下水流域の範囲はこれまで推定されていた面積より小さくなると考えられる結果が得られた。 ②伊良部島における水源可能性基礎調査については、伊良部島の東側で塩水化されていない地下水の存在が確認された。また島の西部に向かうほど、不透水性基盤標高が下がり、深部には塩水が進入していたため、伊良部島西側は水源開発としては不適と考えられることとなり、水源開発の可能性としては伊良部島の東側が有力と考えられる調査結果が得られた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①平良地下水流域の塩水進入状況等調査については、流域界の調査データが不足しているため、流域界特定までには至れなかった。また塩水進入状況についても調査データ不足のため塩淡水境界の詳細な位置は把握しきれなかった。	①平良地下水流域の塩水進入状況等調査については、ボーリング調査の箇所を増加を行い塩水化の状況並びに、平良地下水流域南部および東部の流域界を特定していくことが必要となる。
	②伊良部島における水源可能性基礎調査については、島の東側で塩水化されていない地下水の存在が確認されたが、調査データ不足のため、正確な淡水範囲、塩淡水境界、水源地の可能性の把握までには至らなかった。	②伊良部島における水源可能性基礎調査については、伊良部島東部でのボーリング調査の箇所を増加を行い、伊良部島東部での地下水理構造、並びに地下水質などを調査していくことが必要となる。
今後の取り組み方針		
<p>①平良地下水流域の流域界特定のために流域東部および南部において調査を行い、平良地下水流域界の特定を行う。併せて、今後の宮古島の詳細な水収支検討を行う必要がある。</p> <p>②伊良部島東側の地下水理構造および水質状況の調査を行い、水源開発の可能性を図っていく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	34,560	34,560	27,648	6,912	0
<pre> graph LR A[宮古島市 34,560千円] --> B[委託料 34,560千円] B --> C["(株)エイト日本技術開発 34,560千円"] </pre> <p>①平良地下水流域の塩水進入状況等調査 ②伊良部島における水源可能性基礎調査</p>					

資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○専門的な調査内容であり、適正であると考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○本事業の受注コンサルタントはこれまで宮古島の地質及び地下水について調査実績が豊富である。その調査結果は唯一の淡水資源とする本市においては、市民生活、観光サービス、その他の産業を支えるため、水道原水となる地下水の保全は必要不可欠であるため、今後においても継続調査を行う必要がある。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	